

# KENWOOD

ポータブルマイクロCDシステム

## PMS-F3

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

**ご注意：**

本機にディスクを入れたまま移動しないでください。

**FM 受信周波数について：**

本機はFMワイドバンド仕様になっています。そのため国内FMバンド(76~90 MHz)より高い周波数で、放送を受信する場合がありますが、これは故障ではありません。

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO



## 楽しくて便利なタイマー機能

### 楽しいお知らせ音付き

- 8種類のアラーム音と、8種類の音声の中から好きな音を選んで、タイマーのお知らせ音を出すことができます。

### 独立した時刻設定

- お目覚めタイマー(WAKE UP TIMER)の時刻、お出かけタイマー(GO OUT TIMER)の時刻、録音タイマー(RECORDING TIMER)の時刻、キッチンタイマーや、スリープタイマーの時間などそれぞれ独立して記憶されます。そのため、録音タイマーを使ったあとでも、いつもの時間のお目覚めタイマーへの切り換がワンタッチ。

### 便利なキッチンタイマー付き

- ちょっとした時間の管理に便利なキッチンタイマーが付きましました。



## オートリバース Wカセット

### A、Bデッキの連続再生、高速ダビングがワンタッチ

- A、Bデッキともオートリバースデッキを採用、テープの両面を連続して再生したり、テープの両面を高速ダビングをすることができます。



## カンタンCD編集録音

### 目的別に使える、いろいろな種類のCD編集録音を用意

- CDの倍速ダビング : テープのダビングだけでなくCDからも2倍の早さでダビングができます。
- CDのワンタッチ録音 : 聴いていて気に入ったらワンタッチで録音
- 編集録音 : 指定時間内に曲が途切れないように録音
- プログラム編集録音 : 好きな曲を好きな順に録音



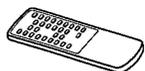
## 簡単操作のワンタッチオペレーション

- 入力切換キーや、CDのプレイキーを押すだけで電源が入り、演奏を開始します。

## 付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

リモートコントロールユニット (1個)



リモコン用単3乾電池 (2本)



電源コード(1本)



安全上のご注意	2
はじめに	6
ご注意とおねがい	8
メンテナンス	8
電源について	9
各部のなまえ	10
リモコンの使いかた	13
時刻合わせ	14
音をたすには	15
音量調整のしかた	15
ヘッドホンで聴くとき	15
放送を聴く	16
放送を受信する	16
放送局を記憶させる(プリセット)	17
放送局を自動でプリセットする	17
プリセット番号の途中から自動プリセットし直す	17
好きな番号に好きな順にプリセットする	18
記憶させた放送局を受信する	18
CDを聴く	19
繰り返し聴く/順番にこだわらずに聴く	20
曲順を自由にプログラムする	21
曲をプログラムする	21
プログラムした曲を再生する	22
テープを聴く	24
テープを聴く準備	24
通常の再生/リレー再生	24
飛び越し選曲をするには	25
録音のしかた	26
通常の録音をする	26
テープをコピーする(ダビング)	27
CDの編集録音	28
トラックシンクロ録音	29
CD倍速ダビング	30
ワンタッチエディット録音	31
編集録音(EDIT)をするには	32
便利な使いかた	33
音質を変えてたのしむ	33
表示内容を切り換えるには	33
外部機器をつなぐ	34
タイマーを使う	35
アラーム音と、タイマー時刻調整のしかた	36
キッチンタイマー/スリープタイマーをつかうには	37
お目覚めタイマーをつかうには	38
お出かけタイマーをつかうには	39
タイマー録音をするには	40
故障と思われる症状ですが	41
定格	43
保証とアフターサービス(必ずお読みください)	44



製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

## 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△ 記号は、注意または警告を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様、または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の故障、誤動作または不都合による、テープや、ディスク等へ記録された内容の損害、および録音、再生など、お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

# 警告

## 指定以外の電圧では使用しない

この機器で使用できる交流電圧は100ボルト専用です。〈交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります〉



## 電源コードの取扱い

電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。



使用禁止

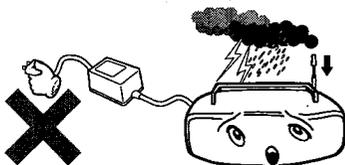
電源コードが傷ついたら(芯線の露出や断線など)使用しないでください。〈火災や感電の危険があります〉

● 修理をご依頼ください。



## 雷が鳴り始めたら

アンテナはたたんで、電源プラグには触れないようにしてください。〈感電の危険があります〉



## 乾電池は充電しない

〈電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります〉



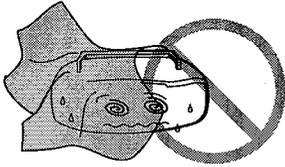
## 放熱に注意



設置の際は、壁から10cm以上離してください。  
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。

- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
- 横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
- 布を掛けたり、布団の上に置かない。

《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》



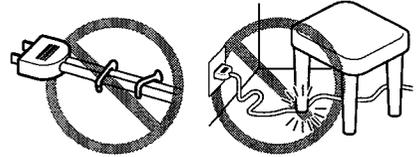
## 電源コードの配線に注意



電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。

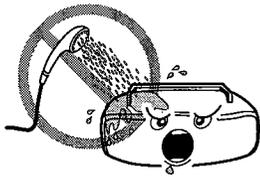
- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
- 敷物の下に電源コードを隠さない。
- 電源コードをステーブルや釘などで固定しない。
- 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。

《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



## 風呂場では使用しない

風呂場など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。  
《火災や感電の危険があります》



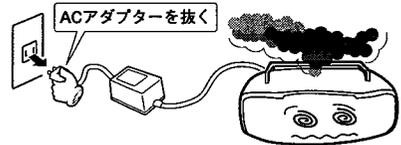
## 異常かな？と思ったら

煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。  
《火災や感電の危険があります》



電源プラグをコンセントから抜け

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 安全を確かめてから、修理をご依頼ください。

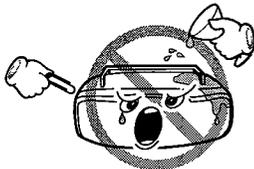


## 機器の内部に異物や水を入れない



内部に水や、異物が入った場合、機器の使用を中止してください。  
《火災や感電の危険があります》

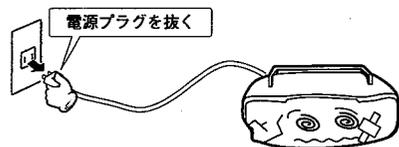
- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



## 落下した機器は使わない

落したり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。  
《火災や感電の危険があります》

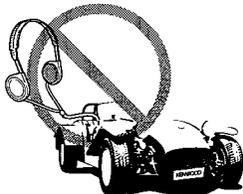
- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



## 事故防止のために



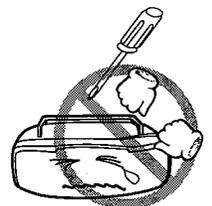
自転車に乗りながら、または自動車、オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しないでください。  
《交通事故の原因になります》



## ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ふた、カバーを開けたり、改造をしないでください。  
《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご相談ください。

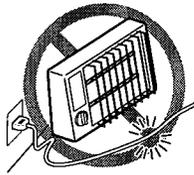


# ⚠ 注意

KENWOOD (J)

## 電源コードは熱器具の近くを避けて

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。  
《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



## 付属の電源コード以外は使わない

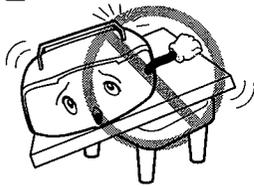
家庭用コンセントで使う場合には、必ず付属の電源コードをご使用ください。  
《付属品以外の電源コードを使用すると、火災、感電の原因になることがあります》



- 付属の電源コードを紛失、または損傷した場合は販売店にご相談ください。

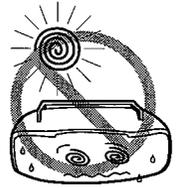
## 不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。  
《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



## 温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。  
《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》



## 湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。  
《火災や感電の原因になることがあります》



## 長期間使用しないときは

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》



電源プラグをコンセントから抜く

## 電源プラグは清潔に

1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。  
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》



## お手入れの際は

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
《電源プラグをコンセントに接続したままの作業は、感電の原因になることがあります》



電源プラグをコンセントから抜く



3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。

《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》

## お子様にご注意

お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。  
《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。

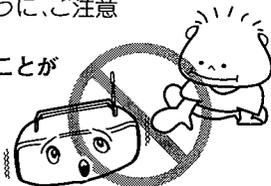
《けがの原因になることがあります》

電池はお子様の手が届かないところに置いてください。

《電池を飲み込むおそれがあります》



指をはさまれないよう注意



## 機器の上にものを乗せない

機器の上に物体を乗せないでください。  
《乗せた物体の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物体の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》



# ⚠ 注意

KENWOOD (J)

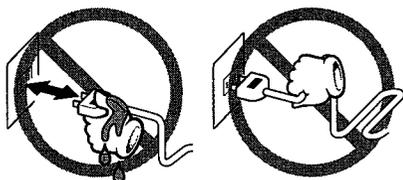
## 電源プラグの抜き差しは

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

《感電の原因になることがあります》

電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。

《コードの部分引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》



## 機器を移動させる際は

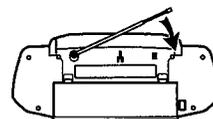


電源プラグをコンセントから抜け

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。

《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》

また、アンテナはたたんでから移動してください。《伸ばしたまま持ち運びすると、アンテナが引っかかったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります》



## 音量に気をつけて



電源を入れる前に、音量(ボリューム)を最小にしてください。

《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

## 電池の取扱い



電池や電池ケースは、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピン等と一緒に携帯、保管しないでください。

《電池のプラス極とマイナス極のショートにより、電池の破裂や液漏れが発生し、火災やけがの原因になることがあります》



電池を加熱、分解したり、火中や水中に入れないでください。

《電池の破裂や液漏れが発生し、火災やけがの原因になることがあります》



電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス"+"とマイナス"-")の向き)に注意し、表示通りに入れてください。

《極性をまちがえると、電池の破裂や液漏れが発生し、火災、けが、または周囲を汚す原因になることがあります》



指定以外の電池を使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

《電池の破裂や液漏れが発生し、火災、けが、または周囲を汚す原因になることがあります》



長期間使用しないときや、常時ACアダプターで使用する場合は、乾電池ケースの電池を取り出してください。

《電池を入れたまま長期間放置すると、液漏れが発生し、火災、けが、または周囲を汚す原因になることがあります》

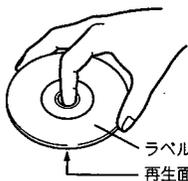


液漏れが発生した場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、漏れた液が身体に付着した場合は、水でよく洗い流してください。

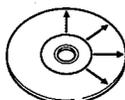
《漏れた液が皮膚に付着したまま放置すると、やけどの原因になることがあります》

## ディスクとテープの取り扱いかた

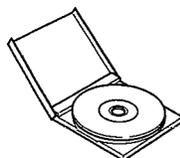
### ディスク取扱上のご注意



**取り扱い**  
再生面にふれないように持ってください。



**お手入れ**  
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



**保存**  
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

**シール類**

**糊のベタつき**

- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
- シール類を剥がした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずアルコールでふき取ってからご使用ください。特に中古CD、レンタルCD等にご注意ください。

### 本機で利用できるディスクについて

#### CD (12cm, 8cm)

- CD - G (CDグラフィックス)ディスクは、本機では音声のみの再生になります。

### ⚠ 注意

**異常なディスクは使用しない**



#### ひびやそりのあるディスクは使わない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

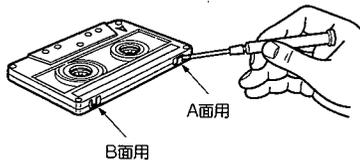
#### クリーニングディスクは使わない

内部の機構を傷めることがありますので、市販のクリーニングディスクは使用しないでください。

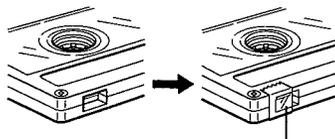
### カセットテープについてのご注意

#### 誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音を防げます。



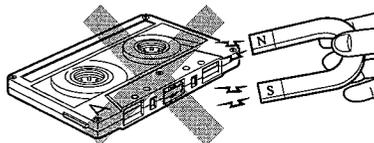
#### 再び録音するには



ツメを折った所だけにテープをはる。

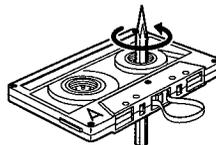
#### カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。また、磁石や磁気は近づけないでください。



#### テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



#### 1. 110以上のテープについて

110分以上のテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたリトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

#### 2. エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



## ご注意とおねがい

### 本機の設置とテレビについて(磁気の影響について)

1. 本機の設置のしかたによっては、テレビ画面に色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、本機を離してご使用ください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生することがありますので、設置にご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがOFFのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

### ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。特に静かな夜間には、小さい音量でも通りやすいものです。夜間のステレオ再生には、特に気をくばりましょう。窓を開めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心をくばり、快い環境を守りましょう。



### 音楽著作権について

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

### 露付きにご注意

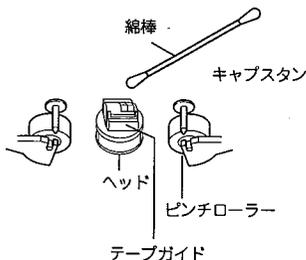
水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを"露付き"といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないか、または、まったく動作しないことがあります。これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。本機の電源を入れた状態で、そのまま放置してください。長くても数時間で露が乾いてきます。

次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。

- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から、湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温との差が大きく、露付きの状態になりやすい条件のとき。

## メンテナンス

### ヘッドのお手入れ



#### ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. オープンボタンを押し、カセットぶたを開けます。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

#### ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。



ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

### セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

# 電源について

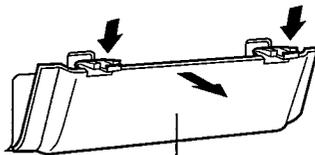
## 時計用乾電池(単三乾電池3本)の入れかた

電池で本体を使うときだけでなく、家庭用コンセントで使うときも、時計用乾電池を入れておきましょう。停電したときでも現在時刻や、記憶してある放送局などが保持されます。

時計用乾電池は本体の背面の電池ケースの奥に入れます。

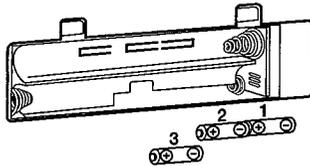
- 電池を交換するときはコンセントに電源コードを差し込んだ状態で交換してください。記憶している内容が保持されます。
- 時計用電池だけでは時計の表示はされません。

### 1 電池ぶたを開ける



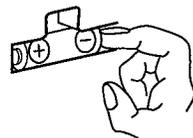
本体背面の電池ぶた

### 2 電池を入れる(3本)



切り欠きのある部分から番号順に入れます。

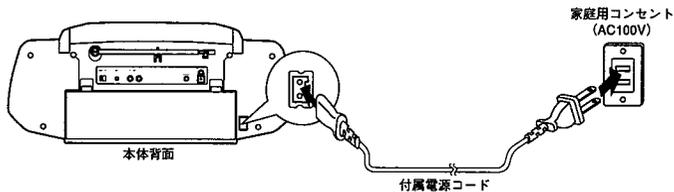
### 取り出すときは



切り欠きの部分の電池のマイナス側に指を入れて取り出します。

- 乾電池は付属しておりませんので市販品をお使いください。
- 時計用電池の寿命は、交流電源を接続していない場合、連続で約3ヶ月間です。(常に時計表示させる場合は交流電源で使うことをお勧めします。)

## 家庭用コンセントで使うとき



付属の電源コード以外は絶対に使わないでください。故障の原因になります。長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

### 電源コードを抜くときは

- 入力をCDに切り換えて下の表示が出ることを確かめてください。
- CDトレイがしまっていない場合はOPEN/CLOSEキーで閉めてからPOWERをOFFにして、電源コードを抜いてください。

DISC

## 乾電池で使うとき

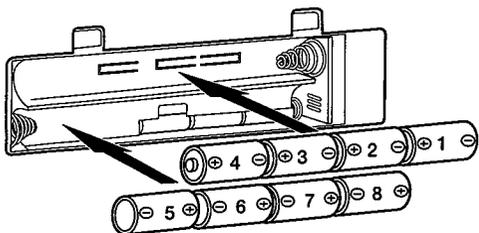
- 付属しておりませんので、市販品をお使いください。

### 1 電池ぶたを開ける

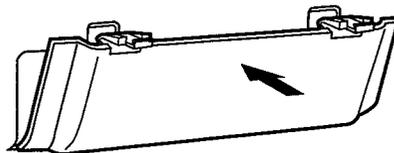
背面の電池ぶたを取り外します。

### 2 電池を入れる(8本)

単一乾電池8本を図のように番号順に入れます。



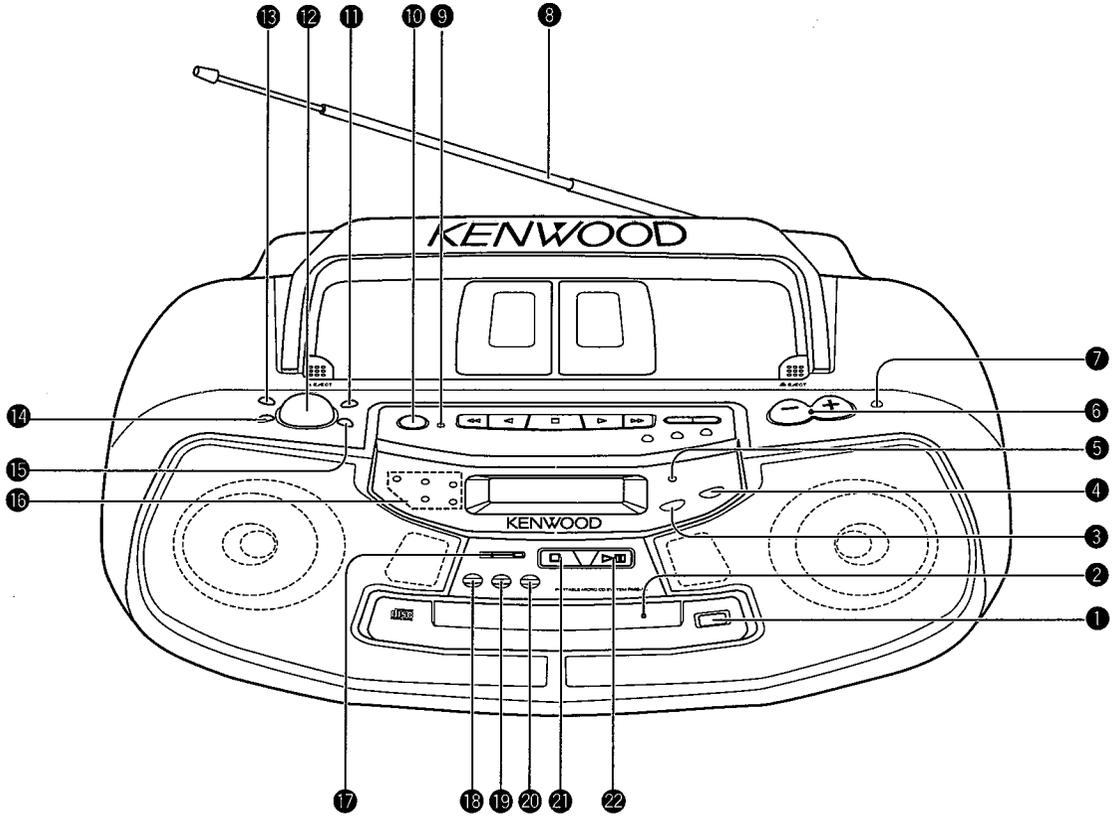
### 3 電池ぶたを閉める



### 乾電池が消耗してくると

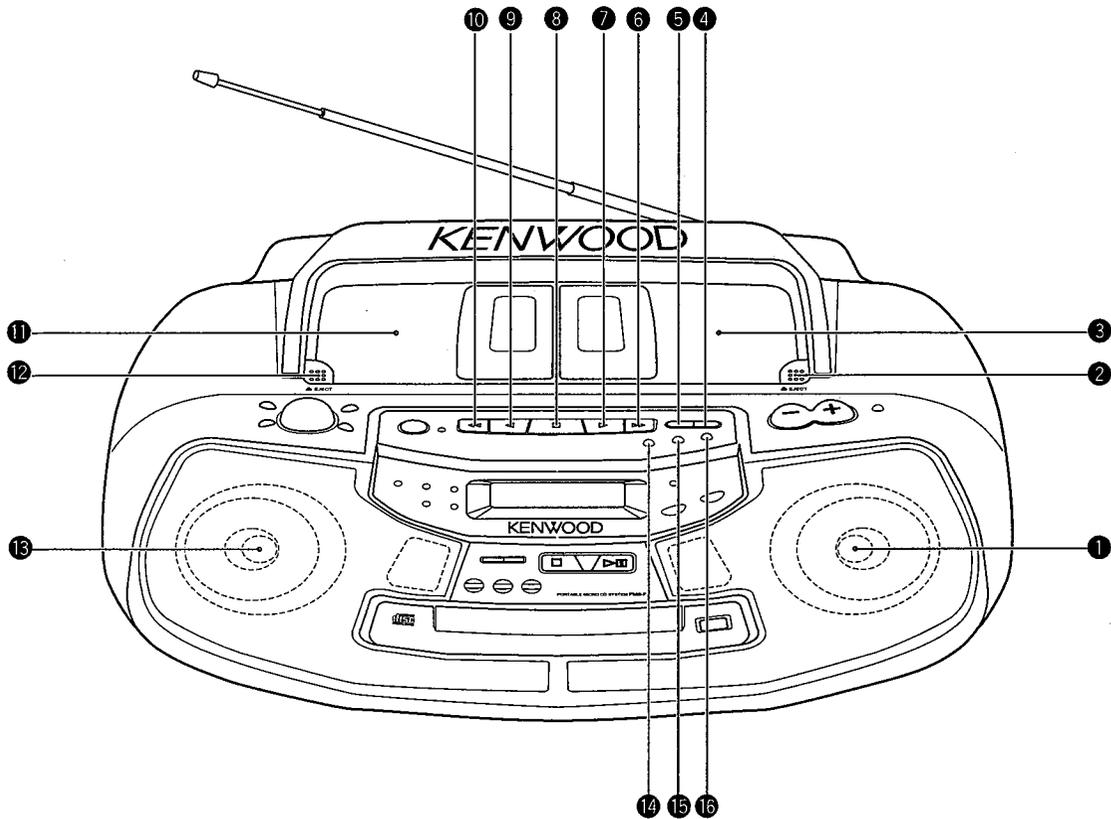
CDの音が飛んだり、テープの音がゆれたりし易くなります。そのようなときは動作用乾電池を8本とも全て新しい乾電池に交換してください。

## アンプ/CD/チューナー部



- |  |  |
|--|--|
| <p>① オープン/クローズキー</p> <p>② CDトレイ</p> <p>③ MD/AUX選択キー</p> <p>④ チューナー選択(FM/AM切替)キー</p> <p>⑤ デジタル オプト. (光出力表示)</p> <p>⑥ ボリュームコントロールキー</p> <p>⑦ サウンド (音質) 切替キー</p> <p>⑧ FM用ロッドアンテナ</p> <p>⑨ オン/スタンバイ (電源) インジケータ</p> <p>家庭用コンセントに電源コードが差し込んであるときは常に点灯しています。</p> <p>⑩ パワー (電源) キー</p> <p>⑪ (TIMER) モードキー</p> | <p>⑫ タイマーオン/オフキー</p> <p>ON/OFFインジケータ表示 (Ⓢ)</p> <p>(タイマー)アラーム</p> <p>⑬ (TIMER) ALARM切替キー</p> <p>(タイマー)ボイス</p> <p>⑭ (TIMER) VOICE切替キー</p> <p>(タイマー)セット</p> <p>⑮ (TIMER) SETキー</p> <p>⑯ タイマーモード表示インジケータ</p> <p>⑰ ◀◀ (TUNING DOWN), ▶▶ (TUNING UP) キー</p> <p>⑱ P.MODEキー</p> <p>⑲ REPEATキー</p> <p>⑳ エンターキー</p> <p>㉑ P.CALL (□) (CD停止) キー</p> <p>㉒ CD (▷◻◻) (CD再生/一時停止) キー</p> |
|--|--|

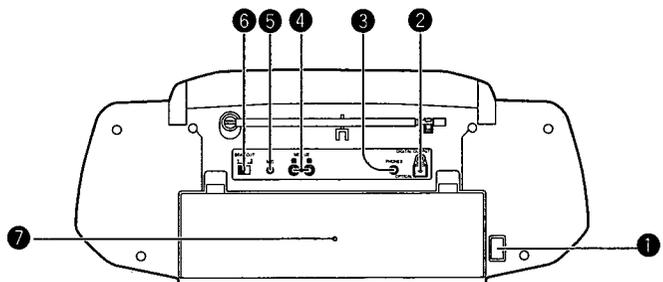
# カセットテープ部



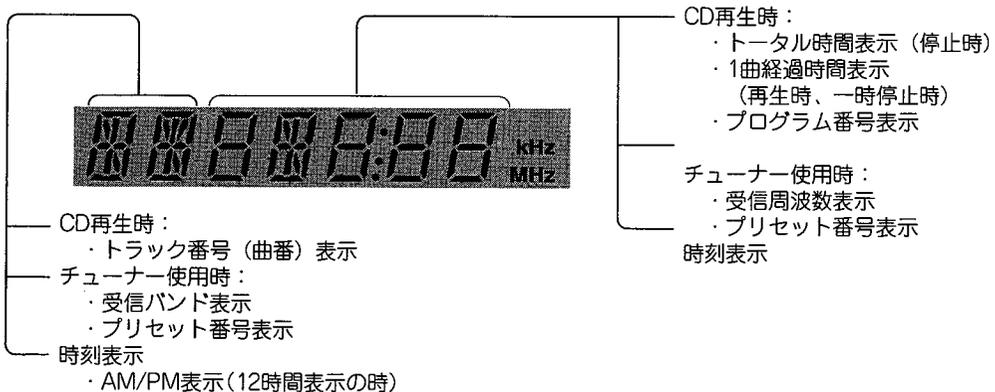
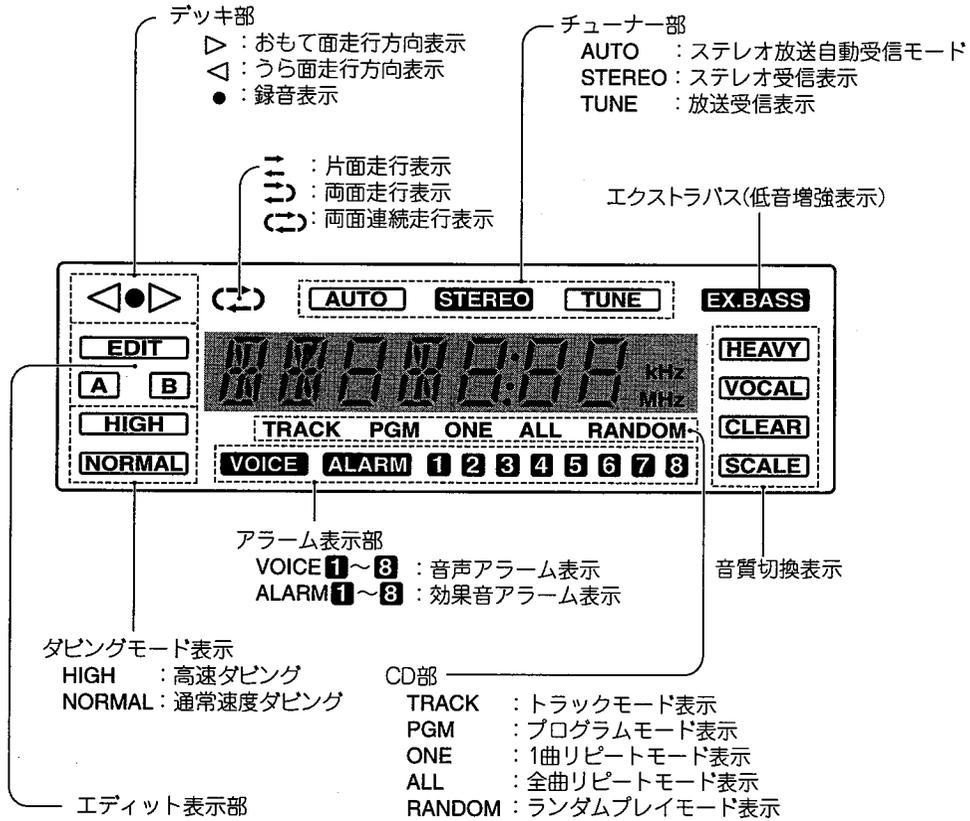
- ① 右側用 R ch. コアキシャルスピーカーユニット
- ② DECK B EJECT (カセット取り出し) ボタン
- ③ DECK B カセットリッド
- ④ ワンタッチエディットキー
- ⑤ REC (録音) キー
- ⑥  $\triangleright \triangleright$  (おもて面の早送り/裏面の巻き戻し) キー
- ⑦  $\triangleright$  PLAY (フォワードプレイ) キー
- ⑧ STOP (□) キー
- ⑨  $\triangleleft$  <sup>プレイ</sup> (リバースプレイ) キー
- ⑩  $\triangleleft \triangleleft$  (裏面の早送り/おもて面の巻き戻し) キー
- ⑪ DECK A カセットリッド
- ⑫ DECK A EJECT (カセット取り出し) ボタン
- ⑬ 左側用 L ch. コアキシャルスピーカーユニット
- ⑭ DUBBING キー
- ⑮ TAPE A/B 切替キー
- ⑯ REVERSE MODE 切替キー

# 背面部

- ① AC IN (AC100V用電源) ソケット
- ② DIGITAL OUTPUT (光デジタルアウト) 端子
- ③ PHONES (ヘッドホン) ジャック
- ④ MD/AUX (MD/外部入力) 端子
- ⑤ MIC 入力端子
- ⑥ BEAT CUT 切り換えスイッチ
- ⑦ 電池ぶた



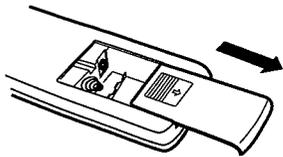
# 表示部



# リモコンの使いかた

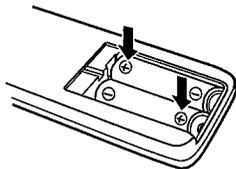
## 電池の入れかた

### 1 カバーをはずす



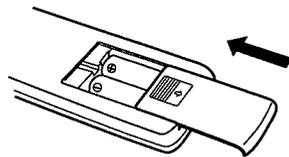
●▽印の部分を押してスライドさせる。

### 2 電池を入れる



●単3乾電池 (R6/SUM-3)2個を極性マークに従って入れる。

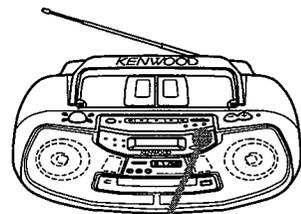
### 3 カバーを閉める



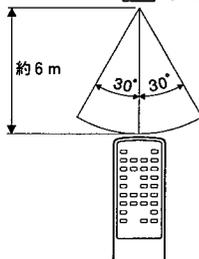
## 操作のしかたと各部のなまえ

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWERキーを押すと、電源がONになります。電源がONになったら、操作したいキーを押します。

リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。



リモコン受光部



操作範囲のめやす

POWER (電源) キー

タイマー操作キー

カセットテープ操作キー

EDITキー

CD操作キー

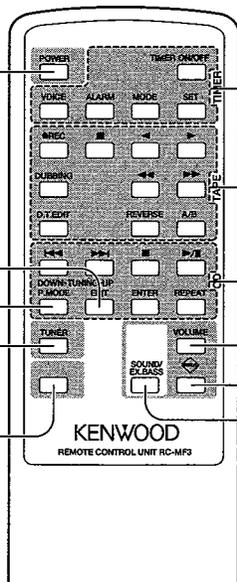
P.MODEキー

VOLUME (音量) 調節キー

TUNER (チューナー/バンド) 選択キー

SOUND/B.B (音質) 調節キー

MD/AUX (MD/外部入力) 選択キー



型名: RC-MF3

赤外線方式

内は、リモコンのみのキーです。



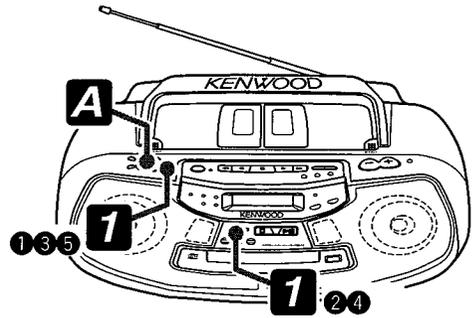
1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

# 時刻合わせ

本機には、時計機能がついています。タイマーを使う前に必ず正確な時刻に合わせてください。

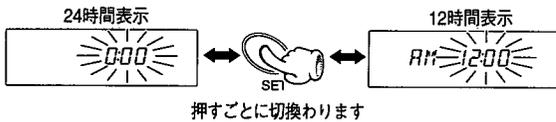
時計用電池をセットしていない場合で、停電があったり、電源プラグをコンセントから抜いたとき、表示が点滅して時刻が0:00にリセットされます。そのときは、時刻を合わせ直してください。

時計用電池は常に入れておきましょう。



時刻合わせ

## 12時間表示に換えるときは



•はじめは24時間表示に設定されています。12時間表示に換えるときは下の手順で換えてください。

- ① 電源プラグを差し込む。
  - ② POWERキー(電源キー)は“切り”のままにしておく。
  - ③ (TIMER) SETキーを押します。(押すごとに12時間表示と、24時間表示が切換わります。)
- キーを1秒以上押しつづけると時刻合わせになります。

## 1 現在時刻を合わせる (リモコンでも操作できます。)

### ① SET(セット)キーを1秒以上押す

1秒以上押す



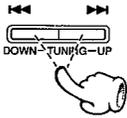
### ② “時”の桁を合わせる



### ③ SETキーを押す



### ④ “分”の桁を合わせる



### ⑤ SETキーを押す



- POWERキーは切ったままで操作します。
- TIMER部のSETキーを押します。

“時”の桁が点滅



- UPキーを1回押すと …… “1”時間繰り上がります。押しつづけると …… “時”がつつけて繰り上がります。
- DOWNキーを1回押すと …… “1”時間繰り下がります。押しつづけると …… “時”がつつけて繰り下がります。

“分”の桁が点滅



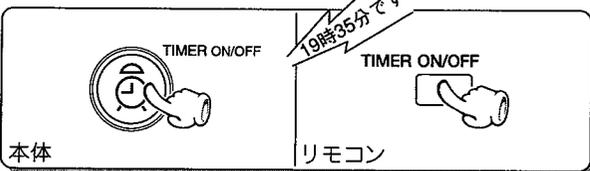
- UPキーを1回押すと …… “1”分繰り上がります。押しつづけると …… “分”がつつけて繰り上がります。
- DOWNキーを1回押すと …… “1”分繰り下がります。押しつづけると …… “分”がつつけて繰り下がります。

- 時刻が合ったらSETキーを押します。

時刻が点灯に変わります



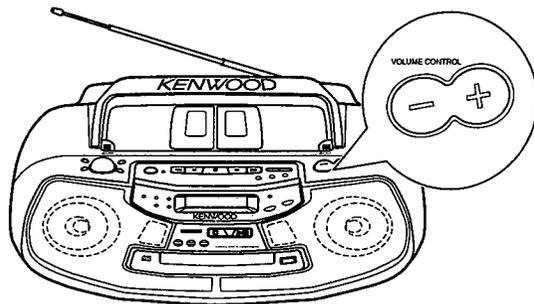
## A 現在時刻を知りたいとき (タイムスタンプ機能)



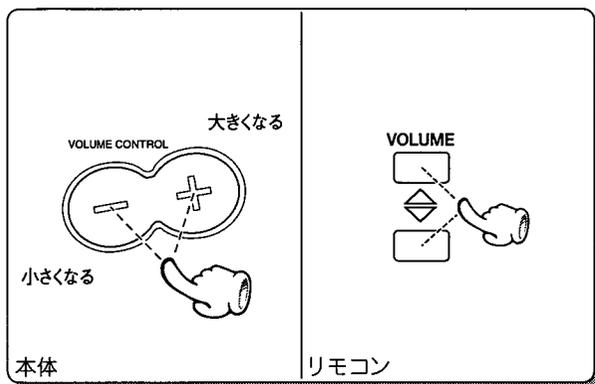
- 電源がオンの状態で操作します。
- TIMER ON/OFFキーを軽く1回押すと音声で現在時刻を知らせて、5秒間表示します。(キーを約1秒以上押しつづけるとタイマーセットの動作になります。)



キッチンタイマーが動作しているときは、時刻の音声アナウンスは行いません。



## 音量の調節のしかた



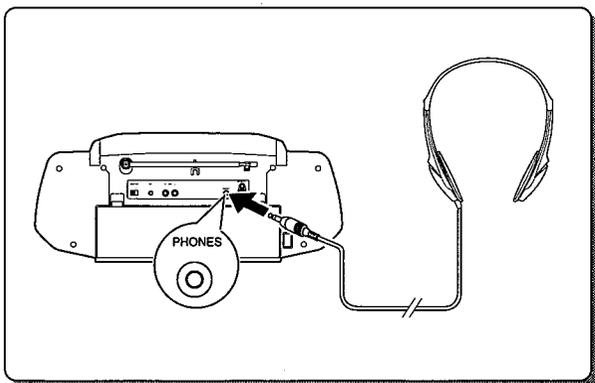
本体で操作する場合。

- VOLUME CONTROL “+”キーを押すと音量が上がります。
- VOLUME CONTROL “-”キーを押すと音量が下がります。

リモコンで操作する場合。

- VOLUME △キーを押すと音量が上がります。
- VOLUME ▽キーを押すと音量が下がります。

## ヘッドホンで聴くとき



- ヘッドホンのプラグを本体のPHONESジャックに差し込みます。

- ステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
- スピーカーからの音は出なくなります。
- 音量の調節はVOLUME CONTROLキー(リモコンのVOLUMEキー)で行います。

## ワンタッチオペレーションについて

本機は電源コードをコンセントに差してあるとき(スタンバイ状態)、CDの演奏キーなどを押すだけで、電源が入り、演奏が始まる便利なワンタッチオペレーションシステムを採用しています。

次のキーでワンタッチオペレーションができます。

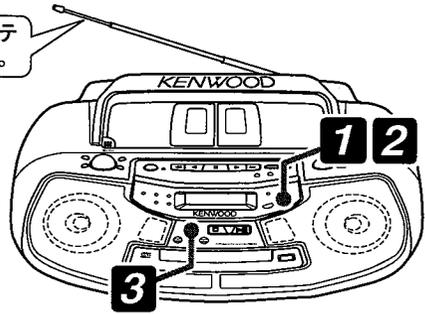
- 入力切換えキー : TAPE (<, >) キー, CD (>CD) キー, TUNER キー, MD/AUX キー



# 放送を聴く

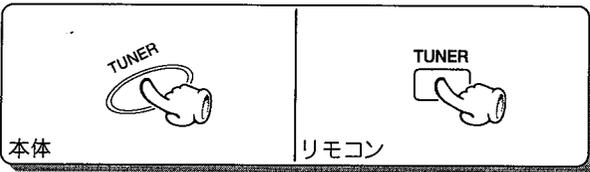
FM放送を受信するときはロッドアンテナを伸ばし、放送の受けやすい向きに調節してください。

FM放送を聴くときはアンテナを伸ばして回転させる。



## 放送を受信する

### 1 “チューナー”を選ぶ



- TUNERキーを1回押します。  
すでにチューナー(ラジオ)に切り換わっているときはFM/AMバンドの切り換えになります。

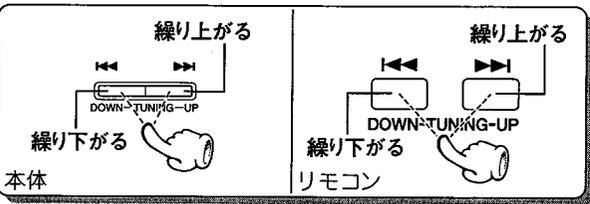
放送を聴く

### 2 AMまたはFMのバンドを選ぶ



- TUNERキーを1回押すたびに次のように切り換わります。  
① FM  
② AM

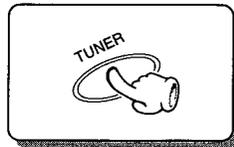
### 3 放送局を選ぶ



- キーを1秒以上押すと  
⇒ オート選局  
自動的に放送局を受信して止まります。  
押すたびに次の放送局を受信します。
- キーを1回ずつ押すと  
⇒ マニュアル選局  
周波数が1ステップずつ変わります。  
受信するまで繰り返し押します。



電波が弱く受信しにくいときはマニュアル選局にします。また、FMステレオ放送で、雑音が多くなるときは、TUNERキーを1秒以上押し続けてモノラル受信にすると聞き易くなります。



- 1秒以上押すたびに切り換わります。  
① ステレオ自動受信(AUTO)  
② モノラル受信(MONO)

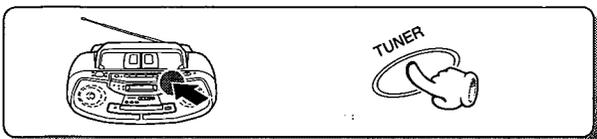
# 放送局を記憶させる(プリセット)



最大20局までの放送局に、番号を付けて記憶させておくことができます。これをプリセットといいます。プリセットしておく、次からは番号を指定するだけで、受信できるようになります。 → 18

## 放送局を自動でプリセットする(リモコンでも操作できます)

### 1 AM/FMのどちらかを選ぶ



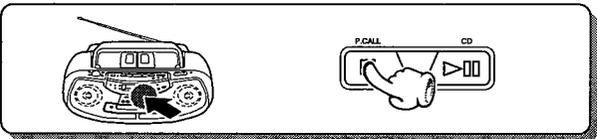
• 押すたびに切り換わります。

- ① AM
- ② FM

### 2 P.MODEキーを押す



### 3 P.CALLキーを押し、プリセット番号“1”を呼び出す



### 4 ENTERキーを押す



### 5 P.CALLキーを2秒以上押す



• 受信しているバンド(AM/FM)の中で自動的に20局まで記憶してプリセットを完了します。



放送局以外で、外部雑音の強い周波数を記憶することがあります。そのときは手動でプリセットし直してください。

## プリセット番号の途中から自動プリセットし直す(リモコンでも操作できます)

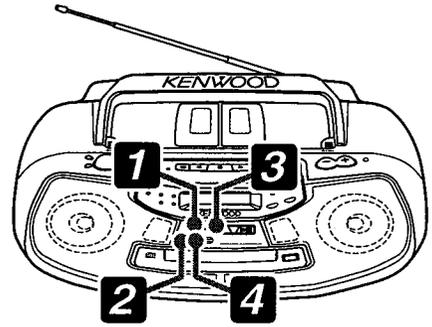
AM局を自動プリセットで20局プリセットした後、途中の番号からFM局をプリセットしたりすることができます。下の(例)はプリセット番号1~4まではAMを残してプリセット番号5からFM局をプリセットするときの例です。

• 操作方法は「放送局を自動でプリセットする」場合と同じ手順で行います。

操作	(例)
① AM/FMのどちらかを選ぶ	FMに切り換える
② P.MODEキーを押す	
③ P.CALLキーを押し、変更したいプリセット番号を呼び出す	プリセット番号“5”を呼び出す。
④ ENTERキーを押す	
⑤ P.CALLキーを2秒以上押す	

全てAM局をプリセット

→



## 好きな番号に好きな順にプリセットする

### 1 放送局を受信する



放送を聴く

### 2 P.MODEキーを押す



- プリセット番号が点滅します。

### 3 プリセットしたい番号を呼び出す



- プリセットしたい番号が出るまでくり返し押します。

### 4 ENTERキーを押す

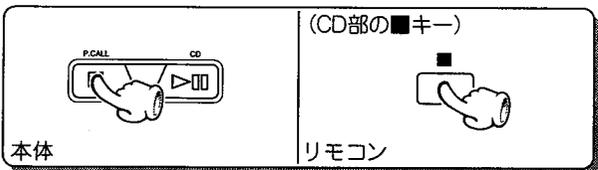


プリセット番号が点滅中にキーを押します。

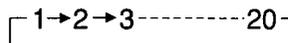
- つづけてプリセットをするときは、手順 **1**～**4** を繰り返します。
- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

## 記憶させた放送局を受信する

### P.CALLキーを押す



- キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。





## 準備をしましょう

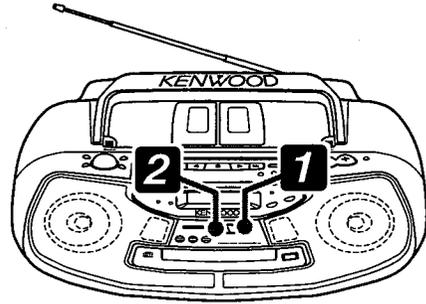


① OPEN/CLOSEキーを押してトレイを開ける。

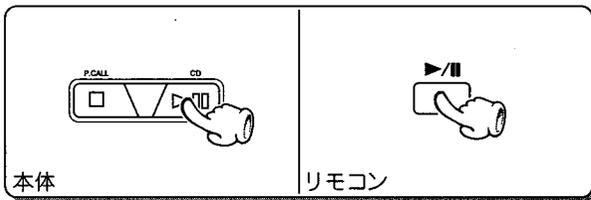


② CDをセットする。

③ OPEN/CLOSEキーを押してトレイを閉める。



## 1 再生を始めるには

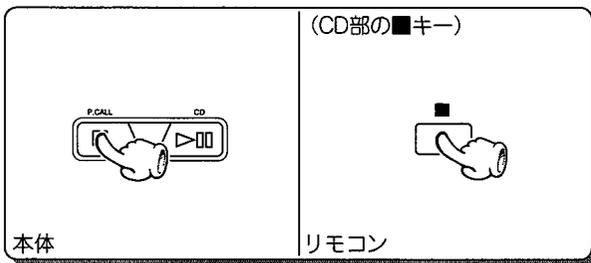


• ▷|| (プレイ/ポーズ) キーを押すと入力がCDに切り換わり、再生が始まります。



一時停止するときにはもう一度 ▷|| キーを押します。

## 2 再生を止めるとき(停止)

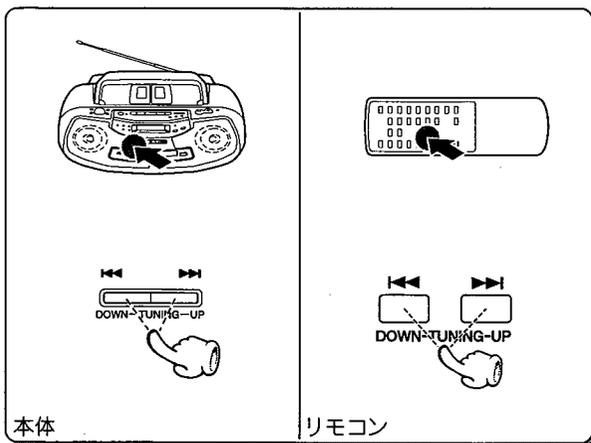


• 再生中または一時停止中に□キーを押すと停止します。



ディスクの総曲数と総時間表示

## 聴きたい部分を選ぶ



### サーチ(早送り、早戻し)

• 再生中にキーを押し続けると早送り、早戻しになります。

### スキップ(飛び越し選曲)

• 再生中に▶▶▶キーを1回押すごとに先の曲の先頭に進みます。

• 再生中に◀◀◀キーを1回押すとその曲の最初に戻ります。

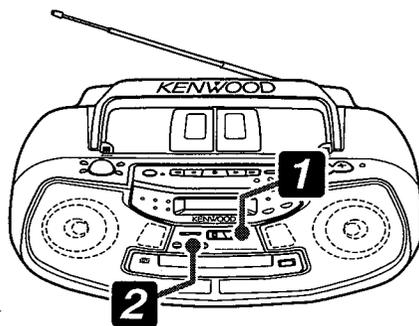
2回以上押すと、押すごとに前の曲に戻ります。



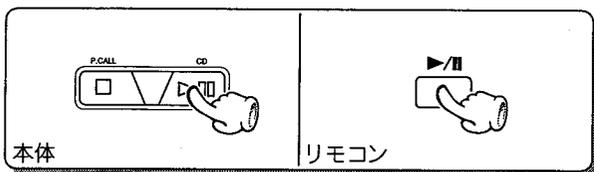
# 繰り返し聴く／順番にこだわらずに聴く

20

1枚のディスクや、セットしてある全部のディスクをくり返し聴いたり、または、順番にこだわらず順不同に聴くことができます。  
くり返し再生することをリピートプレイ  
順不同に再生することをランダムプレイといいます。



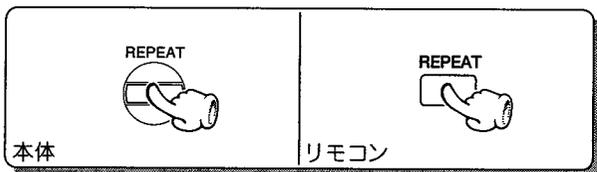
## 1 CDの演奏をする



本体

リモコン

## 2 REPEATキーを繰り返し押す



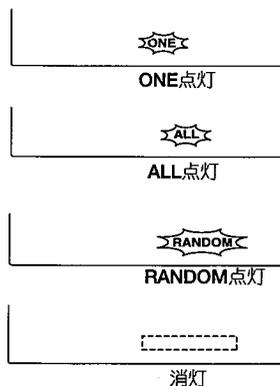
本体

リモコン

• REPEATキーを押すたびに切り換わります。

CDを聴く

- ① ONE ..... 再生中の曲を繰り返し演奏します。
- ② ALL ..... CDの全曲を繰り返し演奏します。
- ③ RANDOM... CDの全曲を順不同に演奏します。  
(プログラムモードの時は、RANDOMにはなりません。)
- ④ 解除 ..... 通常の再生に戻ります。



# 曲順を自由にプログラムする



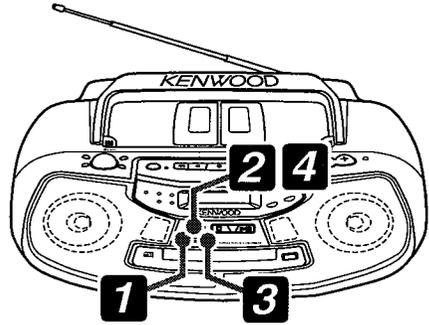
1枚のディスクの中から、好きな曲を好きな順番で(最大20曲)プログラムできます。

## 準備しましょう



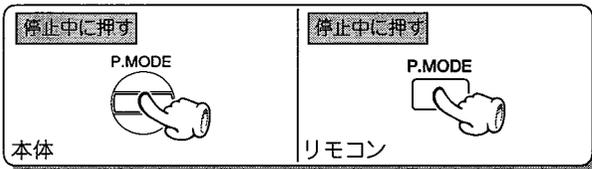
- トレイを開ける。
- ディスクを入れる。
- トレイを閉める。

再生が始まったら□キーを押して停止させます。



## 曲をプログラムする

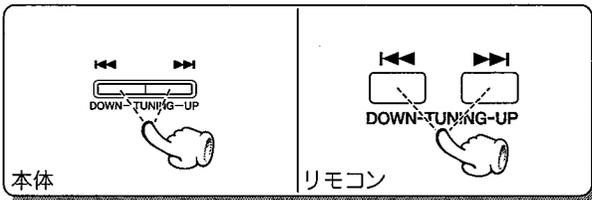
### 1 P.MODEキーを押す



- 停止中にP.MODEキーを押すと“PGM”の表示が点滅します。
- “PGM”が点灯または点滅している状態をプログラムモードといいます。



### 2 登録したい曲番を選ぶ



- ▶▶キーを押すごとに曲番が1番ずつ繰り上がります。
- ◀◀キーを押すごとに曲番が1番ずつ繰り下がります。



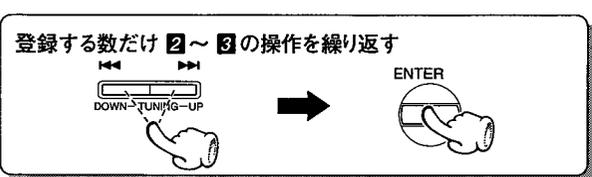
### 3 登録をする(ENTERキーを押す)



- 入力したい曲番を選んだあと、ENTERキーをおします。

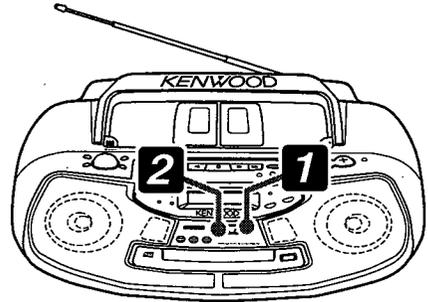


### 4 繰り返し入力する



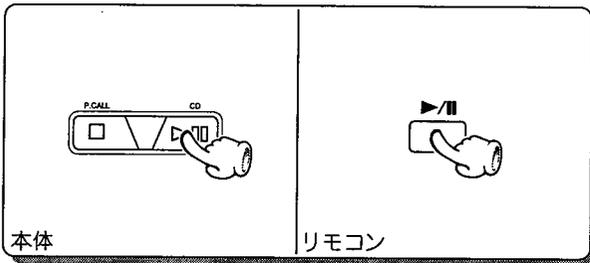
- 20曲まで選べます。21曲になると、“FULL”と表示して、プログラム追加モードは解除されます。
- 曲番の“31”以上の曲をプログラムした場合は、時間表示がされません。
- ディスクに無い曲番は、選べません。





## プログラムした曲を再生する

### 1 プログラム再生を始める



- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に、◀◀ または ▶▶ キーを押すと、プログラムされた曲順に飛び越します。

CDを聴く

### 2 再生を止めるには

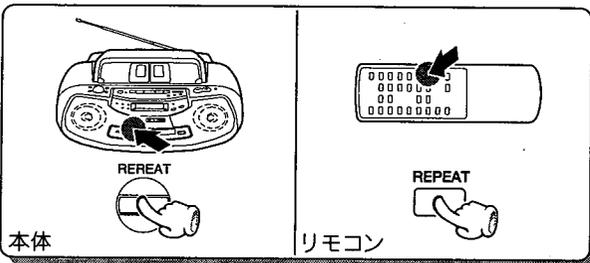


- キーを押すとプログラムは記憶されたままストップします。



もう一度■キーを押すとプログラムされた曲が取り消されてしまいますので、ご注意ください。

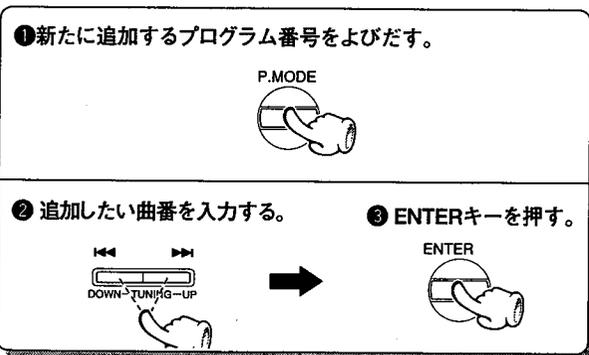
## プログラムを繰り返し聴く



- リpeatキーを押すごとに切り換わりります。 → 20

- ① ONE (1曲リピート)
- ② ALL (プログラム全曲リピート)
- ③ リpeat解除

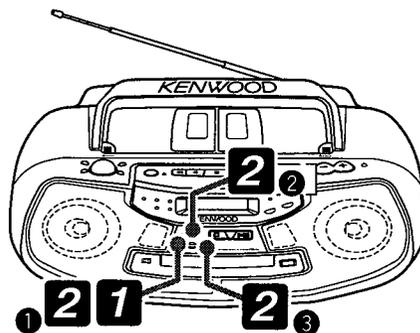
## プログラム曲を追加するには



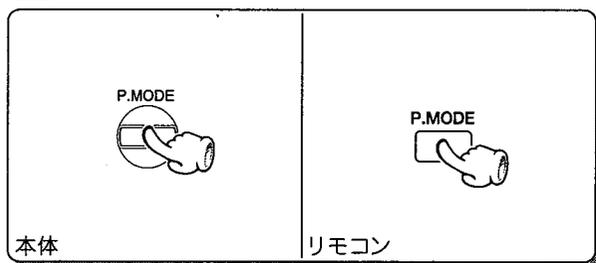
プログラムモードで停止  
停止中に操作します

- 追加した曲は、プログラムの最後に追加されます。

- リモコンでも操作できます。



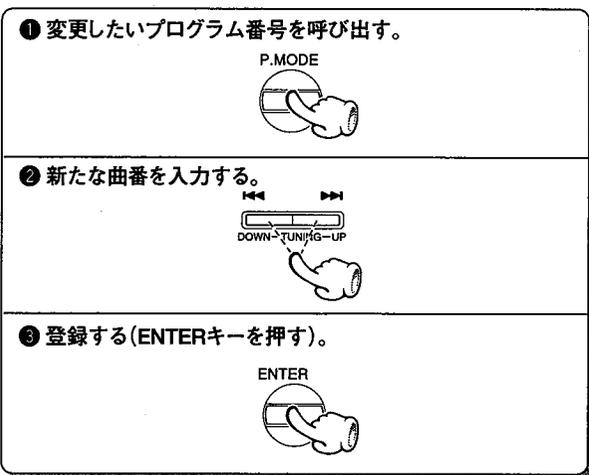
## 1 プログラムした曲を確かめるには



プログラムモードで停止  
停止中に操作します

- プログラム停止中にP.MODEキーを押すとプログラムした順にプログラム内容を確認することができます。

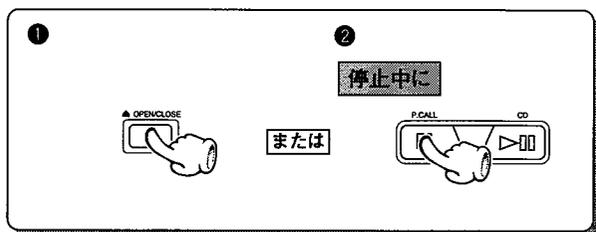
## 2 プログラムした曲を変更するには



プログラムモードで停止  
停止中に操作します

- リモコンでも操作できます。

## プログラムの全部を取り消すときは



- プログラムの全部を取り消すときは、次のどれかの操作をします。
  - ① 本体のOPEN/CLOSEキーを押す。
  - ② プログラム停止中に停止キー(□キーまたはリモコンCD部の■キー)を押す。



# テープを聴く

## テープを聴く準備

### カセットテープの入れかた

- ▲ボタンを押しカセットホルダーを開ける。
- テープをセットする。  
・テープの見える厚い方を手前にしてキチッとセットします。
- カセットリッドを押して閉める。

•再生はA,Bどちらのテープデッキでもできます。  
•テープはたるみのない状態にしてください。  
•ドアは、確実に閉めてください。

### カセットテープの取り出し

- ▲ボタンを押しカセットホルダーを開ける。
- テープを手で取り出す。
- カセットリッドを押して閉める。

片方のテープを再生中に、他方のカセットリッドを開けると、一時音が途切れますが、故障ではありません。

## リバースモードを選ぶ

<p>REVERSE MODE</p> <p>本体</p>	<p>REVERSE</p> <p>リモコン</p>
-------------------------------	----------------------------

- 押すたびに切り換わります
- ① "⇐" 片面のみを再生して止まる
- ② "⇒" 両面を再生して止まる  
(<キーを押したときは、うら面だけを再生して止ります。)
- ③ "↔" エンドレス再生をする

テープを聴く

## 通常の再生/リレー再生

### 再生をはじめるには

<p>PLAY STOP PLAY</p> <p>本体</p>	<p>リモコン</p>
---------------------------------	-------------

- テープの入っているデッキを自動的に判断して再生を始めます。
- 両方のデッキにテープが入っているとTAPPE A/Bキーでデッキを選んでからPLAY(プレイ)キーを押します。

TAPE A/B

### リレー再生をするとき

- 両方のデッキにテープを入れ、リバースモードを"↔"にすると、片方のテープの両面を再生したあと、もう一方のテープの両面を再生します。
- STOP(ストップ)キーを押すまで繰り返し再生します。

REVERSE MODE

### 再生を止めるには

<p>PLAY STOP PLAY</p> <p>本体</p>	<p>(TAPE部の■キー)</p> <p>リモコン</p>
---------------------------------	--------------------------------

### 早送り・早戻しするには

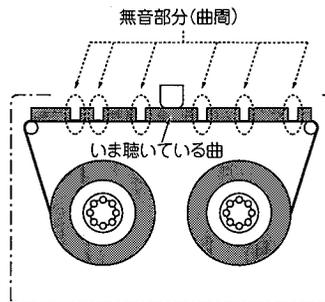
<p>PLAY STOP PLAY</p> <p>本体</p>	<p>リモコン</p>
---------------------------------	-------------



### DPSS(ダイレクト・プログラム・サーチ・システム)について

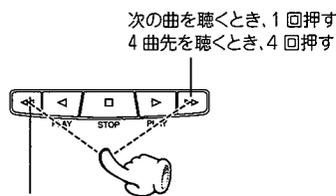
4秒以上の無音部分を「曲間」として探し出す機能で、次のような使いかたがあります。

- 1. 飛び越し選曲 : 途中の曲を飛び越して、目的の曲の最初から再生します。  
最大10曲まで飛び越し選曲します。
- 2. 1曲リピート再生 : 同じ曲を10回繰り返して再生します。



## 飛び越し選曲をするには

▶ 方向再生中(おもて面を聴いているとき)



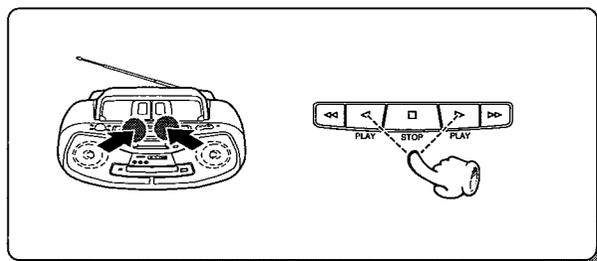
聴いている曲の最初に戻るとき、1回押す  
4曲前に戻るとき、5回押す

◀ 方向再生中(うら面を聴いているとき)



次の曲を聴くとき、1回押す  
4曲先を聴くとき、4回押す

## 1曲リピート再生



- 再生中に走行方向と同じ方向のキーを1回押します。
- リモコンでも操作できます。

- もう一度同じ方向のキーを押すと、1曲リピートは取り消され、再生中の曲から通常の再生に戻ります。
- キーを押すと、停止して、1曲リピートは取り消されます。



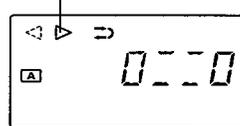
次のようなテープでは、DPSSが正常に動作しません。

- 会話、落語などで音声4秒くらい途切れるテープ
- クラシック音楽など、1曲の中に、音量が極端に小さくなる場所のあるテープ
- 曲間に、大きな雑音などが録音されているテープ
- 曲間が4秒未満のテープ
- 小さな音で録音されたテープ
- クロスフェード録音(前曲の最後に、次曲が重なっていること)されたテープ

## 走行方向表示について

本機は電源オフの状態でも通常は最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。(時計用電池がセットされていないと走行方向は▶方向にリセットされます。向きを変えるときは、テープを入れ、希望の方向のPLAYキーを押してから■キーを押します。)

走行方向が点灯



テープを聴く



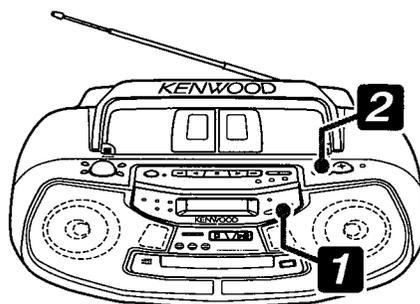
# 録音のしかた

本機は自動録音レベル設定を採用していますので、本機での録音レベル調整は要りません。

- メタルテープ、TYPE 2テープ(ハイポジション)の録音は出来ません。TYPE 1テープ(ノーマルポジション)をお使いください。

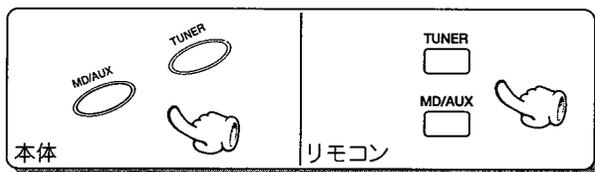
## 準備しましょう

- Bデッキに録音用テープをセットする。(Bデッキのみ録音できます。)
- テープの進む向き(◀, ▶)を選ぶ。
- "⇄"(両面録音) / "⇆"(片面録音)を選ぶ。
- (CDプレーヤー部にディスクを入れる。)



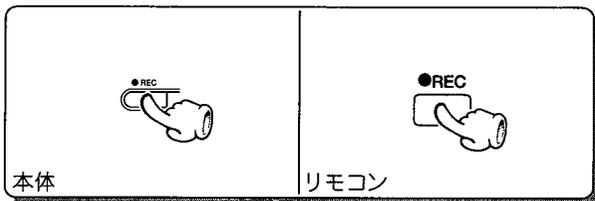
## 通常の録音をする

### 1 何を録音するか選ぶ



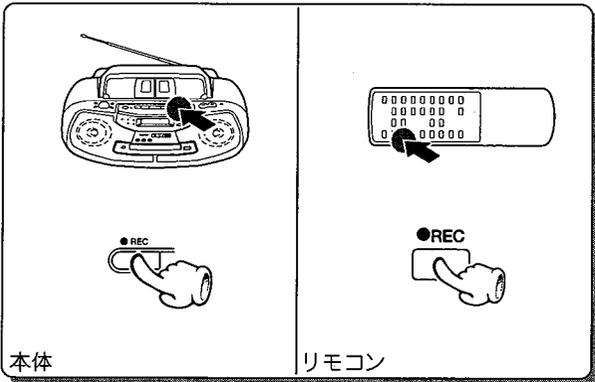
CDを録音するときはONE TOUCH EDIT キー(O.T.EDIT キー)を使ってワンタッチで録音をします。 → 29  
また、CDの倍速録音もできます。 → 30

### 2 録音を開始する



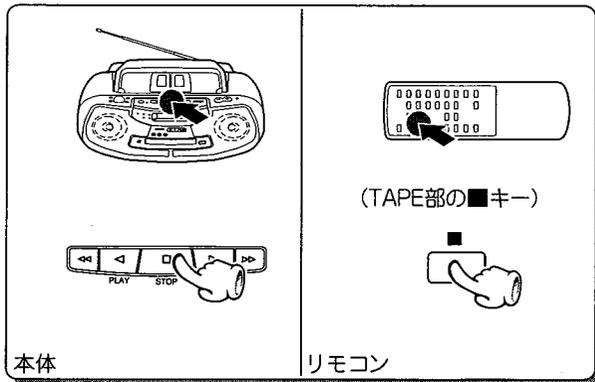
●RECキーを押すと録音が始まります。

### 録音を一時停止するとき(ポーズ)



- 録音中に●RECキーを押します。
- 録音を再開するときは、もう一度●RECキーを押します。

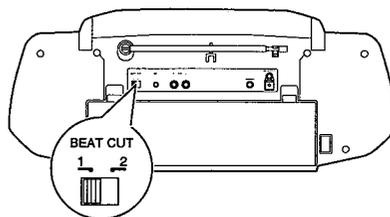
### 録音を終了するとき(ストップ)



## ビートカットについて

• AM放送を録音するとき、ピーツという発振音が録音されることがあります。これは録音回路と、電波の相互作用によるものです。次のようにして切り換えると改善されます。

- 1 目的のAM放送を受信する。
- 2 録音ポーズ状態(RECキーを押す)にする。
- 3 本体背面のBEAT CUT(ビートカット)スイッチを切り換えて発振音の少ない方にする。



# テープをコピーする(ダビング)

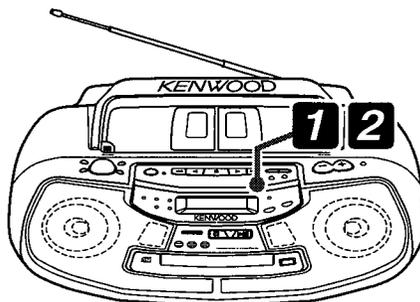
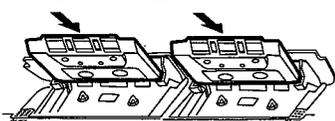


## 準備しましょう

- Aデッキに再生するテープ、Bデッキに録音用テープをセットする。
- Bデッキのテープ方向(◀, ▶)を選ぶ。
- "↔"(両面録音) / "≡"(片面録音)を選ぶ。

再生側

録音側



## ダビング時のテープ走行について

テープの走行方向は....

- Aデッキはおもて面からスタートします。
- BデッキはPLAYキーで選んだ方向からスタートします。

テープの長さが違うときは....

- Aデッキ(再生デッキ)が先に終わると、Bデッキは早送りされ、両面録音の時はオートリバースして、反対面のダビングが始まります。
- Bデッキが先に終わるとAデッキの残りは録音されずに早送りされます。両面録音の時はオートリバースして、反対面のダビングが始まります。

## 1 ダビングのスピードを選ぶ

1秒以上押し

DUBBING



本体

1秒以上押し

DUBBING



リモコン

- DUBBINGキーを1秒以上押しつづけます。押すたびに次のように切り換わります。

- ▶ ① NORMAL (ノーマル) スピード
- ▶ ② HIGH (ハイ) スピード



NORMALスピードでは通常のテープ速度でダビングします。高音質のダビングができ、音を聴きながらダビングすることができます。

録音のしかた

## 2 ダビングを開始する

DUBBING



本体

DUBBING



リモコン

- DUBBINGキーを押すとダビングが開始されます。

## ダビングをやめるときは



本体

(TAPE部の■キー)



リモコン

- STOPキーを押すとダビングが中止されます。



CDを録音するときは次のようないろいろな方法で録音できます。お好みにあった録音方法でお楽しみください。

ワンタッチでCDを全曲録音する。

テープとCDをセットしてONE TOUCH EDITキーを押すだけでCDの録音ができます。

トラックシンクロ録音⇒テープがオートリバーしている間、CDは一時停止しています。テープの最初と最後の部分にはリーダーテープ部があって録音できませんが、その分計算してタイミングを合わせてCDが動作します。曲の途中で反転しても曲の間が抜けないように、約10秒戻って、スタートします。

CD倍速ダビング⇒CDを倍速でダビングすることができます。

トラックシンクロ録音 → 29

CD倍速ダビング → 30

CDを聴きながら好きな曲があったら、その曲だけワンタッチで録音する。

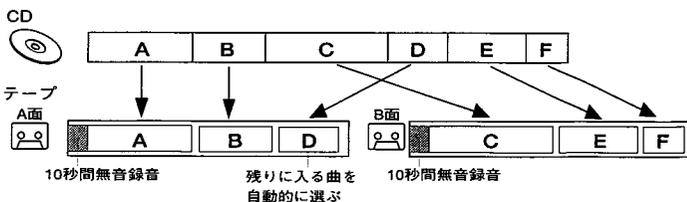
CDを再生中に気に入った曲があった場合、曲の途中でO.T.EDITキーを押せば、その曲の最初に戻って、録音が始まります。その曲だけ録音し、カセットデッキは停止、CDは一時停止になります。再度CDを聴きながら続きにワンタッチ録音する事ができます。

ワンタッチエディット録音 → 31

テープの長さを無駄なく使うように自動的に曲を入れ替えて録音する。

テープの録音時間を設定すると、A面から順に曲を振り分け、A面の最後の曲は、残り時間で一番効率の良い曲を自動的に選びます。リーダーテープ分も計算して動作します。

エディット録音 → 32

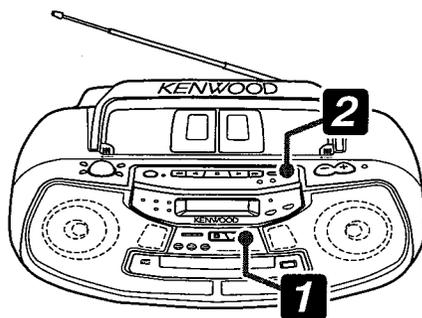


# トラックシンクロ録音



ワンタッチでCDの録音を開始することができます。

- テープがオートリバースしている間、CDは一時停止しています。
- テープの最初と最後の部分にはリーダーテープ部があって録音できませんが、その分計算して自動的にタイミングを合わせてCDが動作します。曲の途中で反転しても曲の間が抜けないように、約10秒戻って、スタートします。最初にテープを送っておく必要はありません。

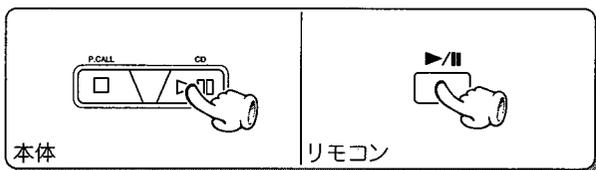


## 準備しよう

- Bデッキにカセットテープをセットする。
- テープの進む向き(◀, ▶)を選ぶ。
- "⇔"(両面録音) / "≡"(片面録音)を選ぶ。
- CDプレーヤー部にディスクを入れる。

→ 24

## 1 入力をCDに切り換える



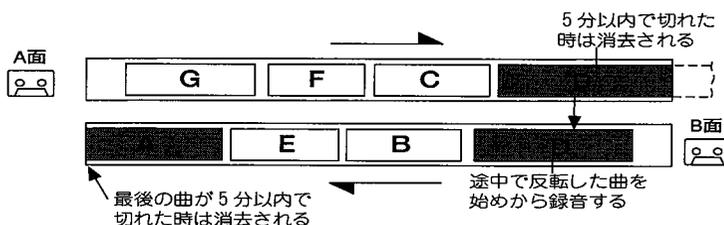
- CDを選んだあと、CDを停止させます。

→ 19

- CDのプログラムをしておくと、プログラム順に録音します。(プログラムシンクロ録音)

→ 21

プログラムシンクロ録音をする場合は下のような動作になります。



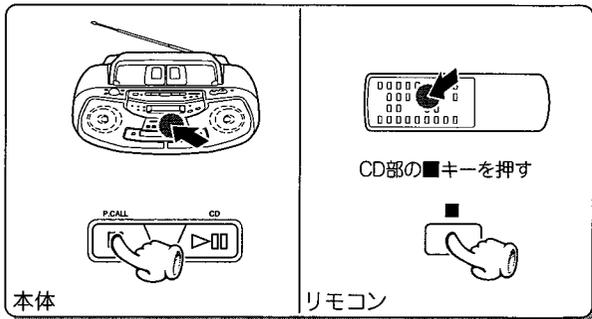
## 2 シンクロ録音を開始する



- ONE TOUCH EDIT キー (O.T.EDITキー) を押すと約10秒間無音録音部分を作った後、CDの再生と同時に録音が始まります。
- CDが終了したときは、4秒間の無音録音をつくって録音も終了します。

## 録音を終了するとき(ストップ)

- CDプレーヤー部の停止キーを押すと、テープは約4秒間の無音録音をつくって停止します。



カセットデッキ部の停止キーで停止させたときは、CDプレーヤー部も停止します。



# CD倍速ダビング

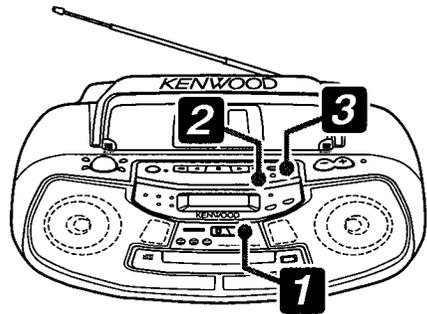
30

DUBBINGキーを切り換えるとCDの倍速ダビングをすることができます。

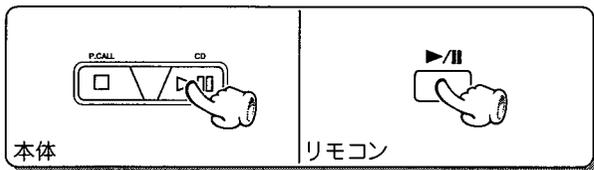
## 準備しましょう

- Bデッキにカセットテープをセットする。
- テープの進む向き(◀, ▶)を選ぶ。
- "⇄"(両面録音) / "≡"(片面録音)を選ぶ。
- CDプレーヤー部にディスクを入れる。

→ 24



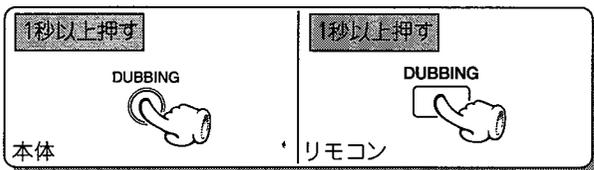
## 1 入力をCDに切り換える



- CDを選んだあと、CDを停止させます。

→ 19

## 2 ダビングのスピードを切り換える



- DUBBINGキーを1秒以上押しつづけます。押すたびに次のように切り換わります。
  - ① NORMAL(ノーマル)スピード
  - ② HIGH(ハイ)スピード

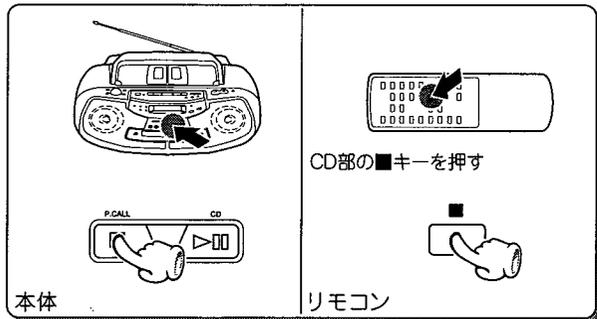
## 3 シンクロ録音を開始する



- ONE TOUCH EDIT キー(O.T.EDITキー)を押すと約10秒間無音録音部分を作った後、CDの再生と同時に録音が始まります。
- CDが終了したときは、4秒間の無音録音をつかって録音も終了します。

CDの編集録音

## 録音を終了するとき(ストップ)



- CDプレーヤー部の停止キーを押すと、テープは約4秒間の無音録音をつかって停止します。



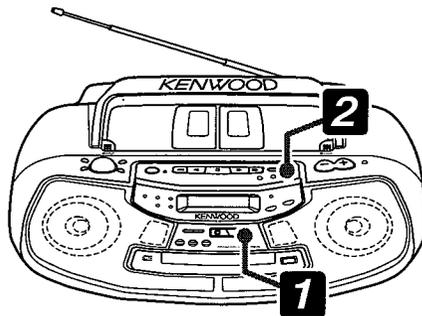
カセットデッキ部の停止キーで停止させたとときは、CDプレーヤー部も停止します。

# ワンタッチエディット録音



CDの今聞いている曲を、ワンタッチで録音開始することができます。

- CDを聞いていて気に入った曲があったら、ONE TOUCH EDITキー(O.T.EDITキー)を押せば、その曲の最初に戻って、録音が開始されます。
- その曲だけ録音し、カセットデッキは停止、CDは一時停止になります。
- 再度CDを聴きながら続きにワンタッチ録音する事もできます。

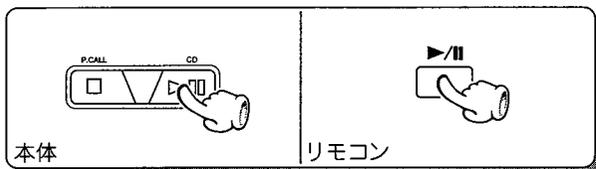


## 準備しましょう



- Bデッキにカセットテープをセットする。
- テープの進む向き(◀, ▶)を選ぶ。
- "二二" (両面録音) / "二" (片面録音) を選ぶ。
- CDプレーヤー部にディスクを入れる。

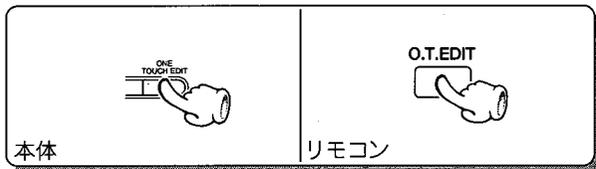
## 1 CDを再生する



本体

リモコン

## 2 録音したい曲をワンタッチ録音をする

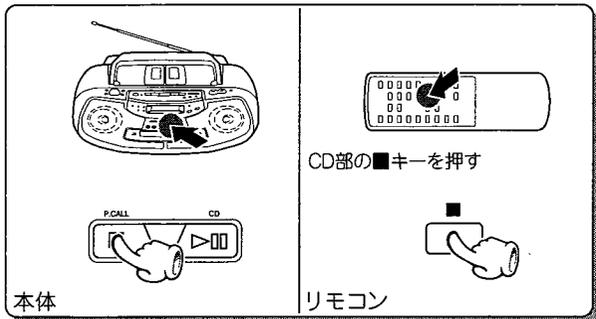


本体

リモコン

- 録音したい曲が再生されたら、ONE TOUCH EDITキー(O.T.EDITキー)を押します。
- 再生中の曲の始めから録音を開始します。
- その曲の録音が終了すると、約4秒間の無録音部分を作り、カセットデッキ部は停止します。CDは一時停止状態になります。
- 同じように操作することにより、テープに続けて録音することができます。

## 録音を途中で止めるとき



本体

リモコン

- CDプレーヤー部の停止キーを押すと、CDプレーヤーとテープの両方が停止します。
- テープ部の停止キーで停止させたときは、CDプレーヤーは曲の頭で一時停止状態になります。



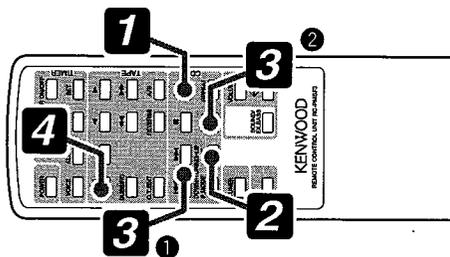
# 編集録音(EDIT)をするには (設定はリモコンのみ)

テープの録音時間を設定すると、A面から順に曲を振り分け、A面の最後の曲は、残り時間で一番効率の良い曲を自動的に選びます。リーダーテープ分も計算して動作します。

## 準備しましょう



- Bデッキにカセットテープをセットする。
- テープの進む向き(◀, ▶)を選ぶ。
- "≡" (両面録音) / "≡" (片面録音) を選ぶ。
- CDプレーヤー部にディスクを入れる。



## 1 入力をCDに切り換える



- CDを選んだあと、CDを停止させます。

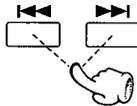


## 2 エディットキーを押す



## 3 テープの長さをセットする

### ① テープ時間を入力する



- ◀◀キーを1回押すと …… “10”分単位で繰り上がります。押しつづけると …… 続けて繰り上がります。
- ▶▶キーを1回押すと …… “1”分単位で繰り上がります。押しつづけると …… 続けて繰り上がります。

### ② 時間設定を終える

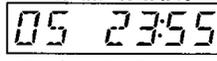


- プログラムモードの時はエディットモードになりません。
- 約8秒間次の操作をしないと、エディットモードが解除されます。

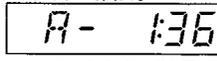
- テープの長さ(C-46,C-60などの時間)を入れます。
- 99(分)以上は入力できません。
- 時間が入力できたらENTERキーを押します。

(1)数字が入力されると“EDIT”表示が点灯から点滅に換わり自動的にエディットを開始します。

A面の総曲数と総時間表示

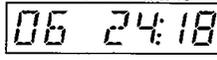


A面の残り時間表示

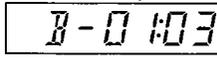


(2)数秒後にA面の残り時間、B面の残り時間の表示をしたあとCDが待機状態になります。

B面の総曲数と総時間表示



B面の残り時間表示



“01 00:00”を表示して待機

- 最大30曲までエディットできます。
- B面に入る曲がなかったときは“NO FILE”の表示をします。
- A面、B面共に入らない曲がなかった場合には“NO FILE”の表示をしたあとエディットモードが解除されます。
- 入力をやり直す場合は□キーを2回押して始めからやり直してください。
- 設定後、EDITキーで内容を確認できます。

- O.T.EDITキー(本体のONE TOUCH EDITキー)を押します。
- テープデッキの録音スタートして、CDの再生が始まります。
- A面の録音が終わるとCDはポーズ状態になり、デッキはテープの終わりまで送られて、B面に反転します。
- B面の始めを約10秒間送ったあとB面の録音が始まります。

## 4 録音を開始する





## 音質を変えてたのしむ

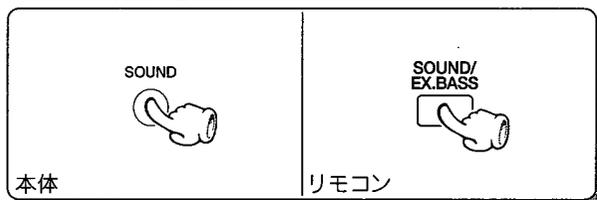
### SOUND(サウンド)機能

SOUNDキーを軽く押すと本機にはヘビーでダイナミックなサウンドから、ノーマル、クリアーなサウンドまで、5段階に切り換えて楽しむことができます。

### BASS BOOST(バスブースト)機能

SOUNDキーを1秒以上押しつづけると、低音をより豊かに再生するバスブースト機能が働きます。

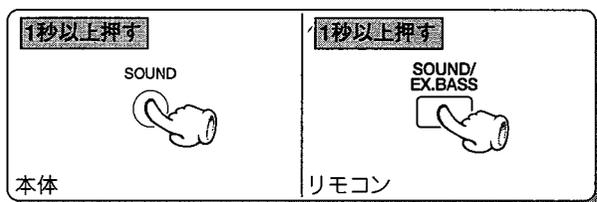
### SOUND機能を使うには



• キーを軽く押すと、押すたびに下のように切り換わります。

- ① HEAVY(ヘビー)
- ② VOCAL(ボーカル)
- ③ CLEAR(クリアー)
- ④ SCALE(スケール)
- ⑤    (解除)

### BASS BOOST機能を使うには

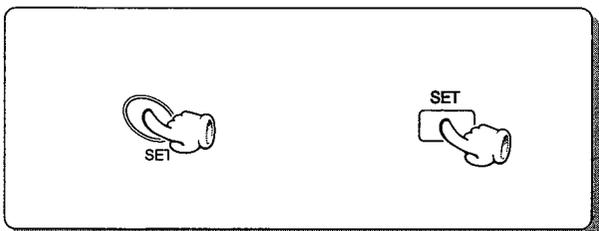


• キーを1秒以上押すと、押すたびに下のように切り換わります。

- ① EX.BASS(エクストラバス)
- ②    (解除)

## 表示内容を切り換えるには

(タイマー)セット  
(TIMER) SETキーを押す



• SETキーを1回押すたびに下のように切り換わります。



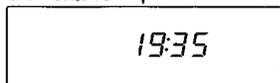
1秒以上押し続けるとタイマーの時刻設定モードになります。

放送受信中

受信周波数表示

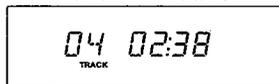


現在時刻表示

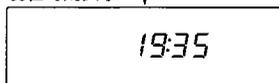


CD再生中

再生曲番/曲の経過時間表示

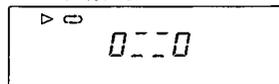


現在時刻表示

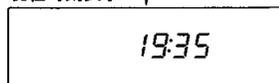


テープ再生中

テープ走行表示



現在時刻表示

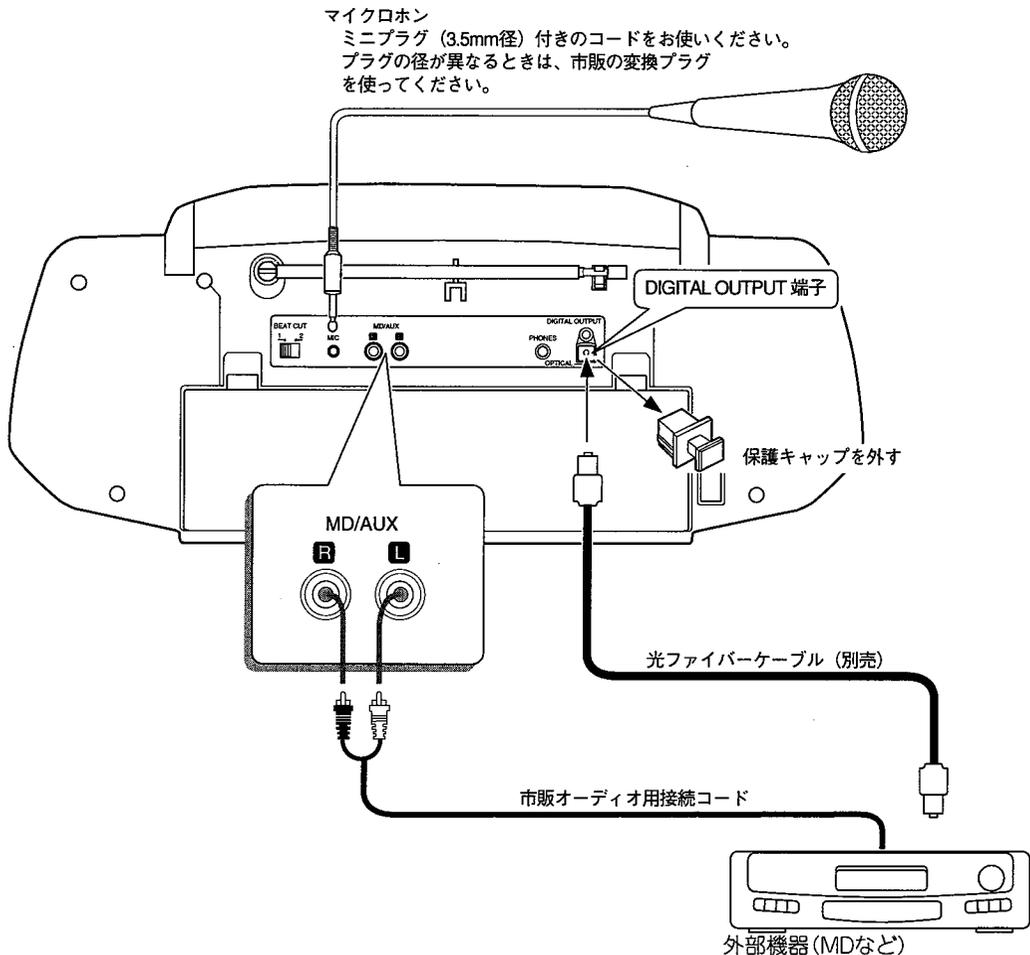




## 外部機器をつなぐ

本機は一般のオーディオ機器を接続できるMD/AUX端子(入力端子)や、マイク端子の他に高音質でMDなどと接続できるDIGITAL OUTPUT端子(光デジタル出力端子)を設けています。

- DIGITAL OUTPUT端子は、CDのデジタル信号をそのまま出力する専用の端子です。



### DIGITAL OUTPUT 端子(光デジタル出力端子)

光デジタル接続で外部のMDなどと接続して録音すると、音質劣化の少ない高音質録音をすることができます。

- デジタル接続をするときは、保護キャップをはずして、光ファイバーケーブル(別売)を接続してください。



1. 光ファイバーはまっすぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
2. 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
3. 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。
4. オーディオ用の接続コードは本機には付属していません。市販品をお使いください。
5. 左右を逆にしたり、極性を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。正しく接続してください。
6. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
7. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。



## ユニークなアラーム機能

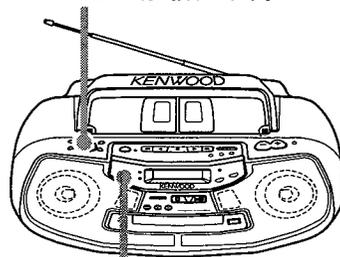
8種類の音声と、8種類の効果音の中からアラーム音を自由を選んで設定できます。(キッチンタイマー、WAKE タイマー、GO OUTタイマー時)

## 使い易いタイマー機能

KITCHENタイマー(キッチンタイマー)、SLEEPタイマー(おやすみタイマー)、WAKE タイマー(お目覚めタイマー)、GO OUTタイマー(お出かけタイマー)、および TIMER REC(録音タイマー)を切り換えて使えます。

それぞれの設定時間は、別々に記憶しているため毎日決まった時間に起きたり、出かけたりするとき、時刻設定を変える必要がありません。

MODEキーを押すたびにタイマーのモードが切り換わります。



タイマーモードを切り換えると、それぞれのインジケータランプが点灯します。

### キッチン KITCHENタイマー

設定した時間が経つとアラーム音が鳴ります。  
お料理などに便利です。

### スリープ SLEEPタイマー (おやすみタイマー)

設定した時間が経つと電源が切れます。  
CDやテープ、放送を聴きながらお休みになれます。

### ウエイク WAKE タイマー (お目覚めタイマー)

設定した時刻になると、音声や、効果音のアラームが鳴ります。  
TIMER ON/OFFキーを押すと(1秒以上)放送、テープ、CDの再生を始めます。

- キーの押し方で、5分ごとにアラームをくり返すスヌーズ機能にもなります。

### AIタイマー機能

アラーム音をOFFにしておくと、AIタイマー機能になります。AIタイマーのときは、音量が徐々に大きくなり、前もって設定してあった音量まで上がります。

### ゴーアウト GO OUTタイマー (お出かけタイマー)

設定した時刻になると自動的に電源が切れます。

- 電源の切れる10分前に“ビビッ...ビビッ...”と鳴り、5分前になると“ビビビビ...”と鳴ります。

### タイマーレック TIMER REC (録音タイマー)

設定したON時刻になると放送の録音を始め、OFF時刻が来ると電源が切れます。

留守中のエアチェックなどに便利です。

## アラーム音のいろいろ

アラーム音はALARM(効果音)とVOICE(音声)の2通り選べます。

ALARM、VOICEは、それぞれ8種類、合計16種類の中から好きなものを選んでお楽しみください。



ALARM



VOICE

- ALARM、VOICEキーを1秒以上押しと選んだアラーム音を確認できます。

ALARMキーを押すごとに下のよう  
に切り換わります。

- ①にわたりの声
- ②犬の声
- ③楽園(小鳥のさえずり)
- ④ホーン
- ⑤サイレン
- ⑥電子音
- ⑦大時計の音
- ⑧目覚まし時計
- ⑨ 全てを出す
- ⑩ OFF(アラーム音を出さない)

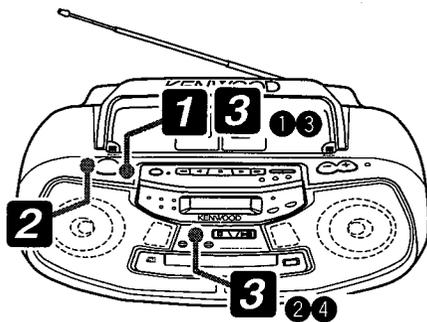
VOICEキーを押すごとに下のよう  
に切り換わります。

- ①“おはようございます”
- ②“朝ですよ”
- ③“起きてくれ〜”
- ④“ねえ起きて”
- ⑤“グッドモーニング”
- ⑥“時間ですよ”
- ⑦“セットした時間です”
- ⑧“行ってらっしゃい”
- ⑨ 全てを出す
- ⑩ OFF(アラーム音を出さない)



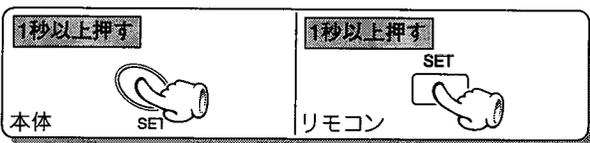
### タイマーセットの手順は...

- ① MODEキーでタイマーモードを選ぶ。
  - ② SETキーを押し、ALARM/VOICEキーでアラーム音を選ぶ。
  - ③ ON/OFF時刻を調整する。
  - ④ TIMER ON/OFFキーを押しタイマーをセットする。
- 詳しくはこのページ以降を参照してください。

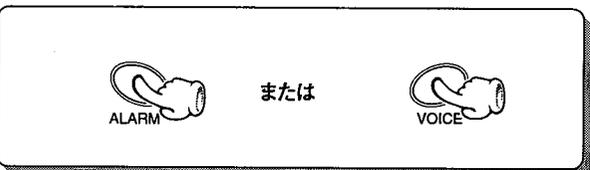


## アラーム音と、タイマー時刻調整のしかた

### 1 SETキーを1秒以上押す



### 2 アラーム音を選ぶ



### 3 時刻を合わせる (リモコンでも操作できます。)

**① “時”の桁を合わせる**  
 • KITCHENタイマー、SLEEPタイマーのときは、“分”の桁の調整のみとなります。

**② SETキーを押す**

**③ “分”の桁を合わせる**

**④ SETキーを押す**

**⑤ 録音タイマーのときはOFF時刻の調整をする。**

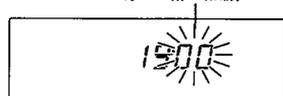
タイマーを使う

- TIMER部の SETキーを1秒以上押すとタイマー時刻の表示になり「時」の桁が点滅します。
  - KITCHENタイマー、または SLEEPタイマーが選ばれているときは、「分」の桁が点滅します。
- 「時」の桁が点滅
- ALARMキー、またはVOICEキーを押してアラーム音を選びます。→ 35

- アラーム音は、スリープタイマー、録音タイマーの時は鳴りません。
- 時刻調整のとき以外 (SETキーを押したとき以外) でも ALARM、VOICEの切り換えができますが、タイマーには記憶されません。アラーム音の確認にお使いください。

- UPキーを1回押すと …… “1”時間繰り上がります。押しつづけると …… “時”がつづけて繰り上がります。
- DOWNキーを1回押すと …… “1”時間繰り下がります。押しつづけると …… “時”がつづけて繰り下がります。

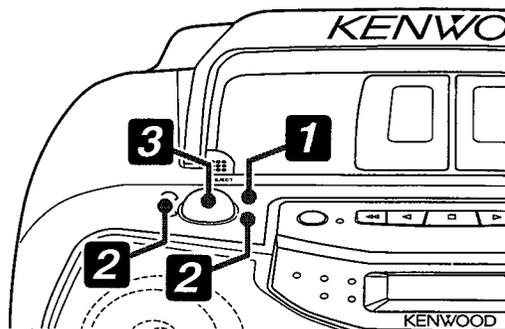
“分”の桁が点滅



- UPキーを1回押すと …… “1”分繰り上がります。押しつづけると …… “分”がつづけて繰り上がります。
- DOWNキーを1回押すと …… “1”分繰り下がります。押しつづけると …… “分”がつづけて繰り下がります。

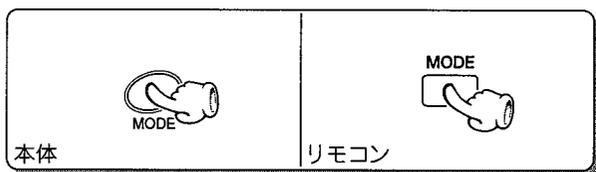
- 時刻が合ったらSETキーを押します。録音タイマー以外の時は、時刻が点灯に変わり、時刻調整が終了します。





## キッチンタイマー/スリープタイマーをつかうには

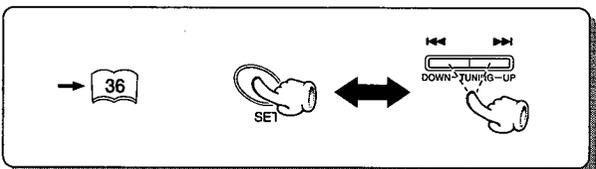
### 1 タイマーモードを選ぶ



• MODEキーを押すたびにつぎのように切り換わります。

- ▶ ① KITCHENタイマー (キッチンタイマー)
- ② SLEEPタイマー (おやすみタイマー)
- ③ WAKEタイマー (お目覚めタイマー)
- ④ GO OUTタイマー (お出かけタイマー)
- ⑤ TIMER RECモード (タイマー録音モード)

### 2 アラーム音を選び、タイマー時間の調整をする

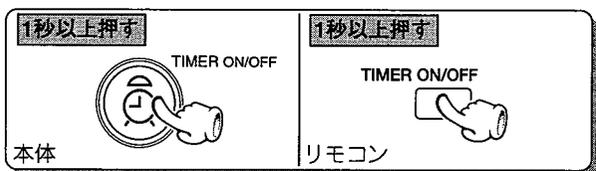


- SETキーを押し、ALARM、またはVOICEキーでアラーム音を設定します。(スリープタイマーの時、アラーム音は鳴りません。)
- つぎに、タイマーの動作する時間をセットします。



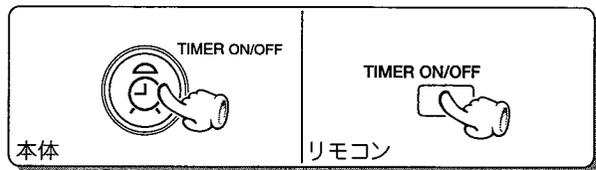
セットした時間は一度設定すると前回の設定を記憶しています。

### 3 タイマーをセットする



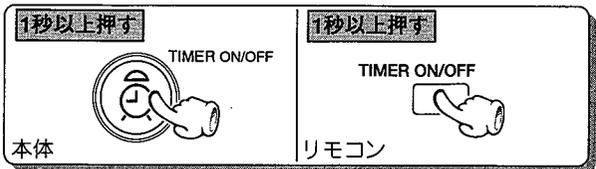
- タイマーが動作を開始します。
- キッチンタイマーの時はセットした時間が経過するとアラーム音が鳴って知らせます。
- キッチンタイマーの動作中は、タイムスタンプ機能の音声アナウンスは行いません。→ 14
- おやすみタイマーの時は、セットした時間が経過すると電源が切れます。

## アラーム音を止めるには



- アラームが鳴っているときにTIMER ON/OFFキーを押すとキッチンタイマーを解除します。

## キッチンタイマー/スリープタイマーをやめるとき



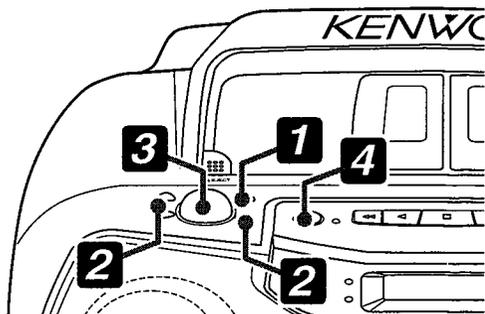
- タイマーの動作中にTIMER ON/OFFキーを約1秒以上押すとタイマーが解除されます。



お目覚めタイマーをセットすると、セットした時間にアラーム音が鳴り、アラームを止めるとステレオの再生が始まります。(アラーム音は色々な効果音や、音声の中から選べます。)

### タイマーを使う準備をしましょう

- ① 電源を入れる。
- ② タイマーで電源が入ったときに聞きたい入力を選ぶ。
- ③ 聞きたい音量をあらかじめセットする。



## お目覚めタイマー(WAKEタイマー)をつかうには

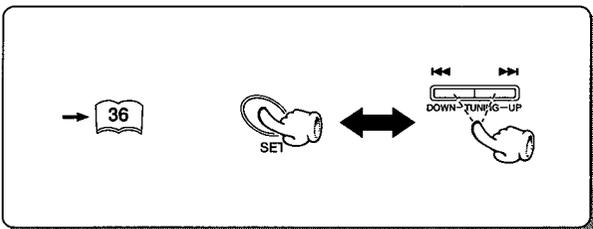
### 1 <sup>ウェイク</sup> WAKEタイマーモードを選ぶ



• MODEキーを押すたびにつぎのように切り換わります。

- ① KITCHENタイマー (キッチンタイマー)
- ② SLEEPタイマー (おやすみタイマー)
- ③ WAKEタイマー (お目覚めタイマー)
- ④ GO OUTタイマー (お出かけタイマー)
- ⑤ TIMER RECモード (タイマー録音モード)

### 2 アラーム音を選び、タイマーON時刻を調整する



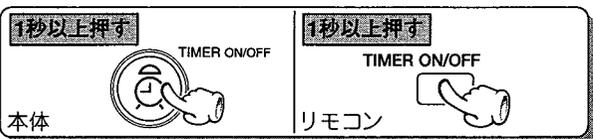
• SETキーを押し、ALARM、またはVOICEキーでアラーム音を設定します。

• つぎに、WAKEタイマーの動作するON時刻をセットします。



セットした時刻と、アラーム音は一度設定すると前回の設定を記憶しています。

### 3 タイマーをセットする



タイマーをセットした後、TIMER ON/OFFキーを1秒以上押すとタイマーがキャンセルされます。

### 4 電源を切る



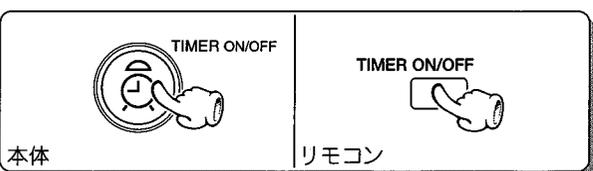
設定した時刻になるとアラーム音が鳴ります。

• ALARM、VOICEの設定がOFF(アラーム音を出さない)設定の時は、AIタイマーの動作になります。

AIタイマー動作のときは、設定時刻になると電源が入り、前もって設定してあった音量まで、徐々に大きくなります。

### アラーム音を止めて、再生を始めるには

タイマーを使う



アラーム音を止めるときは次の2通りの方法があります。

キーを軽く押すと ➡アラームが止まって、10分後に再度鳴り始めます。(スヌーズ機能)

キーを1秒以上押すと ➡アラームが止まって、CDや、テープ、チューナーなどの再生が始まります。



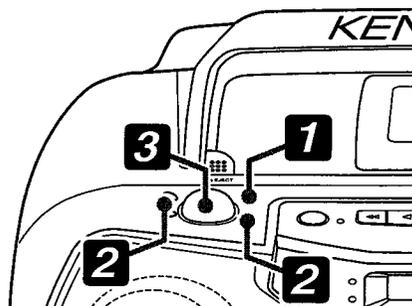
入力切り換えキー(CD、TAPE、TUNER、MD/AUXキー)またはPOWERキーを押すと、いつでもタイマーが解除され、再生を始めることができます。



CDを選んであってもCDがセットされていないと、テープを再生します。テープも入っていないときはチューナーに切り換わります。



お出かけタイマーをセットしておく、外出するときに電源を切らなくても、セットした時刻になると自動的に電源が切れます。



## お出かけタイマー (GO OUTタイマー)をつかうには

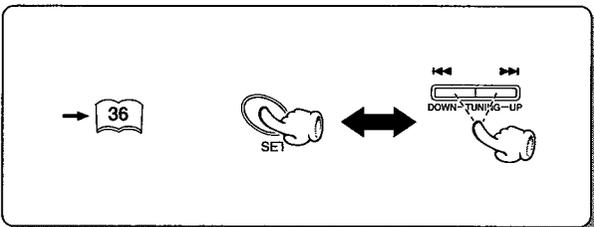
### 1 <sup>ゴースアウト</sup> GO OUTタイマーモードを選ぶ



• MODEキーを押すたびにつきのように切り換わります。

- ① KITCHENタイマー (キッチンタイマー)
- ② SLEEPタイマー (おやすみタイマー)
- ③ WAKEタイマー (お目覚めタイマー)
- ④ GO OUTタイマー (お出かけタイマー)
- ⑤ TIMER RECモード (タイマー録音モード)

### 2 アラーム音を選び、タイマー-OFF時刻を調整する



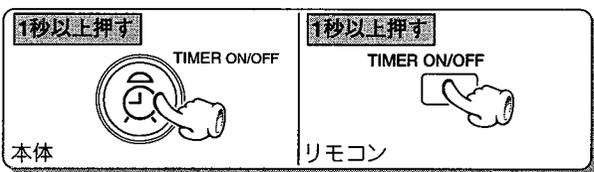
• SETキーを押し、ALARM、またはVOICEキーでアラーム音を設定します。

• つぎに、GO OUTタイマーの動作するOFF時刻をセットします。



セットした時刻と、アラーム音は一度設定すると前回の設定を記憶しています。

### 3 タイマーをセットする

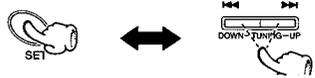


設定した時刻になると電源が切れます

- 設定した時刻の10分前になるとピピ...ピピ...ピピ...と鳴ります。5分前になると「ピピピピ...」となります。(アラーム音をセットしていないときは、この音も鳴りません。)
- 設定した時刻になるとアラーム音が鳴り、自動的に電源が切れます。

## お目覚めタイマーとお出かけタイマーの両方を使うとき

お目覚めタイマー(WAKEタイマー)で電源を入れ、外出時に自動的に電源を切ることもできます。

<p>① お目覚めタイマーのアラームと、時刻を調整する。 (前にセットしてあるときは必要ありません。)</p> 	<p>② お出かけタイマーをセットする。 上の ① ~ ③ の操作をします。</p>	<p>③ 電源を切る。</p> 
--	--	---

- お出かけタイマーをセットして電源を切るとお目覚めタイマーが働いた後、お出かけタイマーの動作をします。
- お出かけタイマーをセットしたあと電源を切らないと、お出かけタイマーのみの動作になります。

## タイマーをキャンセルするには

- タイマーをセットした後、TIMER ON/OFFキーを約1秒以上押しとタイマーがキャンセルされます。

1秒以上押し



(リモコンでも操作できます。)

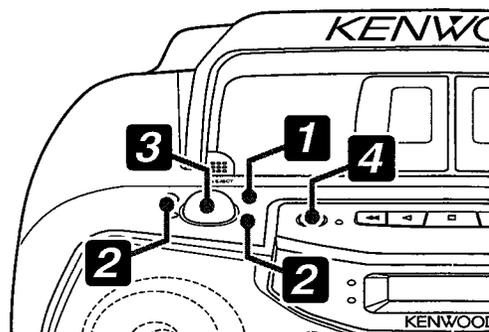


留守中に放送の録音をすることができます。(タイマー録音)  
タイマー録音は、放送の録音のみできます。

### 録音の準備をしましょう

→ 26

- ① 電源を入れる。
- ② 放送を受信する。
- ③ 録音用テープをBデッキにセットする。
- ④ 録音を開始する面を選ぶ。



## タイマー録音をするには

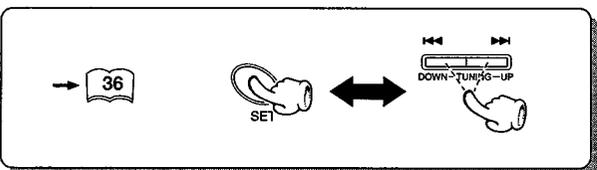
### 1 タイマーレック TIMER RECモードを選ぶ



• MODEキーを押すたびにつきのように切り換わります。

- ① KITCHENタイマー (キッチンタイマー)
- ② SLEEPタイマー (おやすみタイマー)
- ③ WAKEタイマー (お目覚めタイマー)
- ④ GO OUTタイマー (お出かけタイマー)
- ⑤ TIMER RECモード (タイマー録音モード)

### 2 タイマーON/OFF時刻を調整する

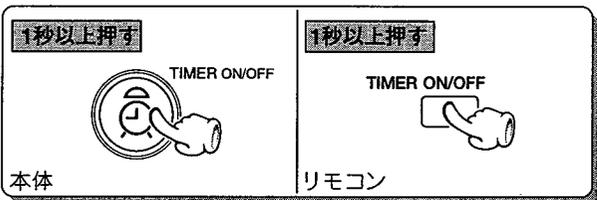


• タイマーで電源を入れる時刻と、切る時刻をセットします。  
時刻の調整が終わったときはSETキーをおします。

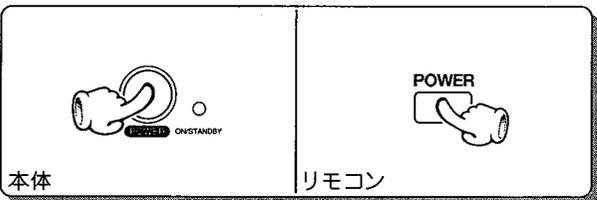


- セットした時刻は一度設定すると前回の設定を記憶しています。
- タイマー録音モードでは、アラーム音は鳴りません。

### 3 タイマーをセットする



### 4 電源を切る



• 設定したON時刻になると放送の録音を開始し、OFF時刻になると電源が切れます。

タイマーを使う

## タイマーをキャンセルするには

• タイマーをセットした後、TIMER ON/OFFキーを約1秒以上押すとタイマーがキャンセルされます。

1秒以上押す



(リモコンでも操作  
できます。)

# 故障と思われる症状ですが...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

## リモコン部

症状	原因	処置
リモコンで操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池切れ</li> <li>操作する位置が遠すぎる。角度がずれている。または障害物がある。</li> <li>再生しようとする機器にテープ、CDが入っていない。</li> <li>録音中のカセットデッキで再生しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい電池に入れ換える。 → <b>13</b></li> <li>操作範囲内で操作する。</li> <li>再生しようとする機器に、テープ、CDを入れる。</li> <li>録音が終わるまで待つ。</li> </ul>

## アンプ、チューナー部、スピーカー部

症状	原因	処置
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量を最小にしている。</li> <li>ヘッドホンプラグが差し込まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適当な音量にする。 → <b>15</b></li> <li>ヘッドホンプラグを抜く。</li> </ul>
時刻表示が、0:00で点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>停電があった。(時計用電池が入って無い時)</li> <li>電源プラグを一度抜いた。(時計用電池が入って無い時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在時刻をもう一度合わせる。 → <b>14</b></li> <li>現在時刻をもう一度合わせる。(時計用電池は常に入れておきましょう)</li> </ul>
タイマーが作動しない。誤動作する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在時刻を合わせていない。</li> <li>TIMER ON/OFF キーをセットしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在時刻をもう一度合わせる。 → <b>14</b></li> <li>TIMER ON/OFF キーをセットする。 → <b>35</b></li> </ul>
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロッドアンテナを伸ばしていない。(FM)</li> <li>本体の向きが放送局に合っていない。(AM)</li> <li>放送バンドが合っていない。</li> <li>受信したい放送局の周波数に合っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナを伸ばして回転させてみる。 → <b>16</b></li> <li>本体の向きを変えてみる。</li> <li>放送バンドを合わせる。</li> <li>受信したい放送局の周波数に合わせる。</li> </ul>
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車のイグニッションノイズ。</li> <li>電気器具の影響によるもの。</li> <li>テレビが近くにある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部アンテナを道路から離して設置する。</li> <li>電気器具の電源を切ってみる。</li> <li>テレビから離す。</li> </ul>
プリセットしたあと、P.CALLキーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリセットした放送局が、受信できない周波数である。</li> <li>電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。(時計用電池が入って無い時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信できる周波数の放送局をプリセットする。 → <b>17</b></li> <li>もう一度プリセットする。</li> </ul>

## カセットデッキ部

症状	原因	処置
再生キーを押しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッドが汚れている。</li> <li>巻取りムラがありテープが重くなっている。</li> <li>未録音テープを再生している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“ヘッドのお手入れ”を見てヘッドを清掃する。 → <b>8</b></li> <li>テープを交換してみる。</li> <li>録音済みテープを使う。</li> </ul>
操作キーを押しても作動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>テープが確実に装着されていない。</li> <li>テープが入っていない。</li> <li>巻取りムラがあり、テープが重くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テープを確実に装着する。</li> <li>テープを入れる。</li> <li>テープを交換してみる。</li> </ul>
DPSSが誤動作する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲と曲の間が短いなど、DPSSに不適当なテープを使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DPSSについてのご注意をお読みください。 → <b>25</b></li> </ul>
CDの編集録音が作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>デッキ部に録音できるテープが入っていない。</li> <li>CDプレーヤー部にディスクが入っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デッキ部に録音できるテープを入れ、操作をやり直す。</li> <li>ディスクを入れ、操作をやり直す。</li> </ul>

症状	原因	処置
音がかすれたり、高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ヘッドが汚れている。</li> <li>• テープが伸びたり、ワカメ状になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• “ヘッドのお手入れ”を見てヘッドを清掃する。 → 8</li> <li>• テープを交換する。</li> </ul>
雑音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ヘッドが磁気を帯びている。</li> <li>• 外部の雑音を誘導している。</li> <li>• ドルビーNRをONで録音したテープを、本機で再生しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• “ヘッドのお手入れ”を見て、消磁する。 → 8</li> <li>• 照明器具、テレビなどから離す。</li> <li>• DOLBY NR録音したテープは正常な音質で再生できません。</li> </ul>
音がふるえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>• キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。</li> <li>• テープに巻き取りムラがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• “ヘッドのお手入れ”を見て、ヘッドを清掃する。 → 8</li> <li>• テープの端から端までを通して早送り、巻き戻し、または再生をして巻き直す。</li> </ul>
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• カセットテープのツメが折れている。</li> <li>• テープが確実に装着されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 → 6</li> <li>• テープを確実に装着する。</li> </ul>

## CDプレーヤー部

症状	原因	処置
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスクが裏返しに入っている。</li> <li>• ディスクがずれている。</li> <li>• ディスクがひどく汚れている。</li> <li>• ディスクに傷がついている。</li> <li>• 光学レンズに露がついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ラベル面を上にして、正しく入れる。 → 6</li> <li>• ディスクを正しく入れ直す。</li> <li>• “ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 → 6</li> <li>• ディスクを取り換える。</li> <li>• “露付きにご注意”を参照し、露を蒸発させる。 → 8</li> </ul>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスクが入っていない。</li> <li>• 再生状態になっていない。</li> <li>• ディスクがひどく汚れている。</li> <li>• ディスクに傷がついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスクを入れる。</li> <li>• ▶/■ キーを押す。</li> <li>• “ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 → 6</li> <li>• ディスクを取り換える。</li> </ul>
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスクが汚れている。</li> <li>• ディスクに傷がついている。</li> <li>• 本機に振動が加わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• “ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 → 6</li> <li>• ディスクを取り換える。</li> <li>• 振動のない場所に設置する。</li> </ul>

故障と思われる症状ですが



1. 本システムではマイコンを使用していますので、外部からの雑音や、妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。そのような場合、電源コードを一度抜いて電池をすべて取り出した後、あらためて電池を入れ直してご使用ください。
2. 接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。
3. テープの種類によっては、自動的にテープが止まったときに“キュー”という音がすることがあります。これはテープ保護機構が働くためで、故障ではありません。

# 定格

## チューナー部

FM受信周波数範囲 ..... 76.0MHz~108MHz  
AM受信周波数範囲 ..... 531kHz~1,602kHz

## アンプ部

実用最大出力 ..... 4.8W + 4.8W (EIAJ)  
周波数特性 ..... 20Hz~20kHz

## CDプレーヤー部

読み取り方式 ..... 非接触光学式読み取り (半導体レーザー)  
周波数帯域 ..... 20Hz~20kHz  
ワウ・フラッター (EIAJ) ..... 測定限界以下

## カセットデッキ部

トラック方式 ..... 4トラック2チャンネルステレオ  
録音方式 ..... 交流バイアス  
ヘッド  
再生用 ..... 1  
録音/再生用 ..... 1  
消去用 ..... 1  
周波数特性 (EIAJ) ..... 50Hz~14,000Hz

## スピーカー部

型式 ..... 8.5cmコアキシャル2ウェイ型 3.2Ω×2

## 総合

電源  
交流 ..... AC100V, 50Hz/60Hz  
直流 ..... DC12V (単一乾電池×8本)

## 電池持続時間

使用乾電池	CD再生時 (EIAJ)	テープ再生時 (EIAJ)	チューナー録音時 (EIAJ)
マンガン乾電池	4時間	8時間	6時間
ニューアルカリ乾電池	10時間	17時間	15時間

定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) ..... 38W  
最大外形寸法 ..... (幅)452×(高さ)182×(奥行)280(mm)  
重量 (本体) ..... 5.0kg  
(乾電池含まず)

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## 保証について

### 保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項(お買い上げ日、販売店名など)が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認のうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 保証期間内の場合は...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。



- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

## 修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をOFFにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご連絡ください。  
(別紙「全国サービス網」をご参照ください。)

### 保証期間が過ぎている場合は...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。



- 補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
- この期間は、通産省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 修理料金のしくみ(有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

### 持込修理と出張修理

「持込修理」、「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。



- 修理のために、セットを販売店やケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーは除きます)
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。  
(お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。)

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台 3-17-9 (ケンウッド青葉台第二ビル)

(大阪) 電話 (06) 357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町 1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。